

Akita J Med 45 (Suppl) : 1~2, 2018

病態制御医学系

形態解析学・器官構造学講座

(旧解剖学第一)

教 授	阿 部 寛
准 教 授	鈴 木 良 地
非常勤講師	天 野 修・田 中 理
	豊 島 至・皆 川 洋 至
	伏 見 悦 子・宮 田 元
助 教	周 明・明 石 英 雄
技術専門職員(兼)	金 津 嘉 徳

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Funakoshi, K., Bagheri, M., Zhou, M., Suzuki, R., Abe, H. and Akashi, H. (2017) Highly sensitive and specific Alu-based quantification of human cells among rodent cells. *Sci. Rep.*, **7**, 13202.
- 2) Abe, H., Yamamoto, M., Suzuki, R., Zhou, M., Murakami, G. and Rodríguez-Vázquez, J.F. (2017) Changes in topographical relation between the ductus arteriosus and left subclavian artery in human embryos : a study using serial sections. *Okajimas Folia Anat. Jpn.*, **94**(1), 27-35.
- 3) Suzuki, R., Konno, N., Ishizawa, A., Kanatsu, Y., Funakoshi, K., Akashi, H., Zhou, M. and Abe, H. (2017) Time-saving and fail-safe dissection method for vestibulocochlear organs in gross anatomy classes. *Clin. Anat.*, **30**(6), 703-710.
- 4) Zhou, M., Suzuki, R., Akashi, H., Ishizawa, A., Kanatsu, Y., Funakoshi, K. and Abe, H. (2017) Simple ways to dissect ciliary ganglion for orbital anatomical education. *Okajimas Folia Anat. Jpn.*, **94**(3), 119-124.

B. 審査を経ない論文

- 1) 生野泰明, 周 明, 鈴木良地, 勝山 裕, 瀧公介 (2017) ヒト脳の中脳・橋断面における神経構造可視化のための簡便染色法. 滋賀医大誌 **30**(1), 112-115.

学 会 発 表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 122 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 3 月, 長崎
- 1) 清水翔太, 鈴木良地, 周 明, 金津嘉徳, 阿部 寛 (2017) 気管支分岐機構に関する研究—B*出現機構に関する考察—
- 2) 甲州健太, 鈴木良地, 周 明, 金津嘉徳, 阿部 寛 (2017) 皮下組織と血管の走行
- 3) 南 大輝, 鈴木良地, 周 明, 金津嘉徳, 阿部 寛 (2017) 前腕伸側における皮静脈・皮神経の交差について
- 4) 鈴木良地, 大和田祐二, 阿部 寛 (2017) パイエル板 M 細胞表皮型脂肪酸結合タンパク質発現による濾胞関連上皮内への樹状細胞遊走調節機構
- 5) 明石英雄, 船越広大, 鈴木良地, 阿部 寛, 安達 登 (2017) 定量 PCR 法による陳旧試

(2) 病態制御医学系 形態解析学・器官構造学講座

料中ヒトゲノム検出のためのプライマー・プローブ設計クライテリア

- 6) 船越広大, 明石英雄, 鈴木良地, 阿部 寛, 安達 登 (2017) 陳旧試料における高感度ヒトゲノム検出法の開発
- 7) 周 明, 阿部 寛 (2017) ラット肝臓における ATP 感受性 K⁺チャンネルの分子局在

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. 第 28 回リンパ系・免疫系懇話会, 3 月, 長崎
 - 1) 鈴木良地 (2017) マウスパイエル板 FABP5 発現による粘膜下への抗原提示調節機構

(ii) 地方規模

1. 第 41 回峠の会, 形態学セミナー, 7 月, 栃木
 - 1) 明石英雄, 船越広大, 周 明, 鈴木良地, 阿部 寛, 安達 登 (2017) 超高感度ヒトゲノム検出法の開発と今後の展望について
 - 2) 周 明 (2017) 橈側手根屈筋破格の一例

報 告 書

- 1) 明石英雄 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究 2015~2017 年度「新規ヒト多能性維持機構の解明とそれを利用した分化誘導方法の開発」実施状況報告書

そ の 他

1. 明石英雄, 船越広大 (国立大学法人秋田大学) ヒトゲノム DNA 検出法, 平成 29 年 11 月 30 日出願, 番号: PCT/JP2017/42943 (特許出願).
2. 平成 28 年度 秋田大学総合技術部研修会, 2 月, 秋田
 - 1) 金津嘉徳, 小畑孝弘, 川越政美, 三浦光隆 (2017) <教育・研究支援> 「献体処置見学と補助についての報告」

Akita J Med 45 (Suppl) : 3~4, 2018

病態制御医学系

細胞生物学講座

(旧解剖学第二)

教授	八月朔日	泰和
准教授	山崎	正和
非常勤講師	後藤	薫
助教	吉川	究・鮎川友紀
総括技術長(兼)	三浦	光隆 (~3月)
再雇用技術職員	三浦	光隆 (4月~)
研究補佐員	鈴木	麻衣子・山崎直子

総説・解説

- 1) 八月朔日泰和 (2017) 脂質性二次伝達物質ジアシルグリセロール (DG) と代謝酵素 DG キナーゼ. 秋田医学 **44**, 1-9.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Hozumi, Y., Fujiwara, H., Kaneko, K., Fujii, S., Topham, M.K., Watanabe, M. and Goto, K. (2017) Diacylglycerol kinase ϵ localizes to subsurface cisterns of cerebellar Purkinje cells. *Cell Tissue Res.*, **368**, 441-458.
- 2) Iwazaki, K., Tanaka, T., Hozumi, Y., Okada, M., Tsuchiya, R., Iseki, K., Topham, M.K., Kawamae, K., Takagi, M. and Goto, K. (2017) DGK ζ downregulation enhances osteoclast differentiation and bone resorption activity under inflammatory conditions. *J. Cell. Physiol.*, **232**, 617-624.
- 3) Kimura, H., Eguchi, S., Sasaki, J., Kuba, K., Nakanishi, H., Takasuga, S., Yamazaki, M., Goto, A., Watanabe, H., Itoh, H., Imai, Y., Suzuki, A., Mizushima, N. and Sasaki, T. (2017) Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hy-

perrophic cardiomyopathy. *JCI Insight*, **2**, e89462.

- 4) Nakano, T., Ogasawara, S., Tanaka, T., Hozumi, Y., Mizuno, S., Satoh, E., Sakane, F., Okada, N., Taketomi, A., Honma, R., Nakamura, T., Saidoh, N., Yanaka, M., Itai, S., Handa, S., Chang, Y.W., Yamada, S., Kaneko, M.K., Kato, Y. and Goto, K. (2017) DaMab-2: anti-human DGK α monoclonal antibody for immunocytochemistry. *Monoclon. Antib. Immunodiagn. Immunother.*, **36**, 181-184.
- 5) Tanaka, T., Hozumi, Y., Iino, M. and Goto, K. (2017) NAP1L1 regulates NF- κ B signaling pathway acting on anti-apoptotic Mcl-1 gene expression. *Biochim. Biophys. Acta*, **1864**, 1759-1768.

学会発表

A. 国際会議

1. The 4th Asia-Pacific Drosophila Research Conference, May, Osaka
- 1) Ayukawa, T., Hozumi, Y. and Yamazaki, M. (2017) Functional analysis of a PCP regulator Jitterbug

(4)

病態制御医学系 細胞生物学講座

B. 国内会議**(a) 総会・年会**

1. 第122回日本解剖学会総会, 3月, 長崎

- 1) 八月朔日泰和, 後藤 薫 (2017) ラット糖尿病モデルの膵臓ランゲルハンス島におけるDGK ζ の局在変化
- 2) 吉川 究, 今井克幸, 三浦光隆 (2017) ヤツメウナギ鰓のビタミンA貯蔵細胞
- 3) 鮎川友紀, 山崎正和 (2017) 平面内細胞極性を司る新規調節機構の解析

2. 第40回日本神経科学大会, 7月, 千葉

- 1) 八月朔日泰和, 藤原浩樹, 藤井 聡, 後藤 薫 (2017) イブシロン型ジアシルグリセロールキナーゼの形態学的機能解析

(b) 地方会

1. 日本解剖学会第63回東北・北海道連合支部学術集会, 9月, 弘前

- 1) 吉川 究, 今井克幸, 三浦光隆, 八月朔日泰和 (2017) ヤツメウナギ鰓のビタミンA貯蔵細胞
- 2) 鮎川友紀, 八月朔日泰和, 山崎正和 (2017) 平面内細胞極性を司る新規調節機構の解析

(c) 研究会**(i) 全国規模**

1. 第16回生命科学研究会, 6月~7月, 金沢

- 1) 山崎正和 (2017) 平面内細胞極性の向きが逆転する現象の解析

2. 第3回 生体調節研究所 内分泌代謝シンポジウム, 11月, 群馬

- 1) 山崎正和 (2017) 外力によるPCP制御機構の解析

報 告 書

- 1) 八月朔日泰和 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2014~2016年度「脂質二次メッセンジャー代謝酵素の神経細胞および網膜における形態学的機能解析」研究実績報告書
- 2) 八月朔日泰和 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2014~

2016年度「脂質二次メッセンジャー代謝酵素の神経細胞および網膜における形態学的機能解析」研究成果報告書

- 3) 山崎正和 (2017) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) 2016~2018年度「組織の力学的基盤を司る第三のPCP制御グループを介した新たなPCP調節機構の解明」研究実績報告書

- 4) 山崎正和 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究 2016~2017年度「平面内細胞極性の向きを逆転させる未知の機構の解析」研究実施状況報告書

- 5) 鮎川友紀 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2014~2016年度「新規PCP遺伝子の機能解析」研究実績報告書

- 6) 鮎川友紀 (2017) 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 2014~2016年度「新規PCP遺伝子の機能解析」研究成果報告書

そ の 他

1. 平成28年度 医学系研究科技術部研修会, 1月, 秋田

- 1) 藤原誠樹, 三浦光隆 (2017) <研修報告> 医学系研究科技術部画像研修会

- 2) 三浦光隆 (2017) <退職者挨拶> 感謝

2. 平成28年度 秋田大学総合技術部研修会, 2月, 秋田

- 1) 三浦光隆 (2017) <スキルアップ> 広報資料等から考える奨励研究採択の推移

- 2) 金津嘉徳, 小畑孝弘, 川越政美, 三浦光隆 (2017) <教育・研究支援> 献体処置見学と補助についての報告

3. 平成28年度 秋田医学会賞受賞式及び受賞記念講演, 教授就任特別講演会, 2月, 秋田

- 1) 八月朔日泰和 (2017) 脂質性二次伝達物質ジアシルグリセロール (DG) と代謝酵素 DG キナーゼ

Akita J Med 45 (Suppl) : 5, 2018

病態制御医学系

細胞生理学講座

(旧生理学第一)

教授	尾野恭一
講師	大場貴喜
助教	安達健 (～2017年8月31日)
	岡本洋介 (2017年11月1日～)
再雇用技術職員	藤澤進
大学院生	高木大地・高橋貴一
	福田康義 (2017年4月～)
事務補佐員	大山美也子

著書

- 1) 総監修 山本文雄, 監修 伊藤 宏, 尾野恭一, 監修・編集 長谷川仁志 (2017) 臨床推論集中講座 胸痛. メヂカルビュー社.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Ohba, T., Watanabe, H., Murakami, M., Iino, K., Adachi, T., Baba, Y., Kurosaki, T., Ono, K. and Ito, H. (2017) Stromal interaction molecule 1 haploinsufficiency causes maladaptive response to pressure overload. *PLoS ONE*, **12**(11), e0187950.

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 3月, 札幌
- 1) 安達 健, 小山 崇, 尾野恭一 (2017) 圧電素子センサーによって得られた心拍信号と既存の心機能評価の関連

(c) 研究会

(ii) 地方規模

1. 第49回東北生理談話会, 10月, 秋田
- 1) 大場貴喜, 藤澤 進, 村上 学, 尾野恭一 (2017) 心筋リモデリングの分子機序と細胞膜穿孔法の開発
2. 第110回近畿生理談話会, 11月, 神戸
- 1) 姫野友紀子, 梅原象平, 尾野恭一, 野間昭典, 天野 晃 (2017) 肺静脈心筋細胞モデルの自動能発生メカニズムの解析
3. 第51回日本生体医工学会 東北支部大会, 12月, 秋田
- 1) 尾野恭一, 小山 崇, 安達 健, 大場貴喜, 大野浩司, 山本洋己, 田中俊彦 (2017) (特別講演) 振動センサーを用いた心拍呼吸遠隔監視システムの実用化に向けた展開 ～疾患スクリーニング及び健康管理への応用～

その他

1. 第12回秋田大学医理工連携“夢を語る会”, 2月, 秋田
- 1) 尾野恭一 (2017) 非接触型振動センサーによる心拍・呼吸遠隔監視システムの研究開発

Akita J Med 45 (Suppl) : 7~10, 2018

病態制御医学系

器 官 病 態 学 講 座

(旧病理学第二)

教 授	後 藤 明 輝
准 教 授	前 田 大 地
非 常 勤 講 師	提 嶋 眞 人 (市立秋田総合病院科長)
	大 橋 健 一 (横浜市立大学大学院教授)
	杉 山 達 朗 (秋田病理組織細胞診センター医師)
	大 田 泰 徳 (帝京大学医学部准教授)
	高 橋 正 人 (秋田厚生医療センター科長)
助 教	吉 田 誠
大 学 院 生	伊 藤 行 信・馬 越 通 信
技 術 専 門 員 (兼)	工 藤 幸 紹
事 務 系 補 佐 員	渡 辺 敏 美
技 術 系 補 佐 員	中 村 ゆ た か

著 書

- 1) 宇於崎宏, 後藤明輝 (2017) 13章 さまざまな臓器の疾患と病態, はじめの一步の病理学. 第2版, 羊土社, 東京, pp. 230-270.
- 2) 前田大地, 川村公一 (2017) 10章 生活習慣病・代謝性疾患, はじめの一步の病理学. 第2版, 羊土社, 東京, pp. 167-193.

総 説・解 説

- 1) 後藤明輝 (2017) 肺癌の病理組織分類と分子病理—最近の動向. 秋田県医師会雑誌 **67**, 1-6.
- 2) 伊藤行信, 吉田 誠, 馬越通信, 前田大地, 高橋 啓, 郭 永梅, 高橋直人, 後藤明輝 (2017) CPC解説 第97回: 両肺に多発肺腫瘍を形成した若年成人発症菌状肉症の一剖検例. 病理と臨床・**35**(8), 759-765.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Goto, A., Tanaka, M., Yoshida, M., Umakoshi, M., Nanjo, H., Shiraiishi, K., Saito, M., Kohno, T., Kuriyama, S., Konno, H., Imai, K., Saito, H., Minamiya, Y. and Maeda, D. (2017) The low expression of miR-451 predicts a worse prognosis in non-small cell lung cancer cases. *PLoS One*, **12**; **12**(7), e0181270. doi: 10.1371/journal.pone.0181270. eCollection 2017.
- 2) Ito, Y., Maeda, D., Yoshida, M., Yoshida, A., Kudo-Asabe, Y., Nanjyo, H., Izumi, C., Yamamoto, F., Inoue, M., Shibata, H., Katoh, H., Ishikawa, S., Nakamura, H., Totoki, Y., Shibata, T., Yachida, S. and Goto, A. (2017) Cardiac intimal sarcoma with PDGFRβ mutation and co-amplification of PDGFRα and MDM2: an autopsy case analyzed by whole-exome sequencing. *Virchows Arch.*, **471**(3), 423-428. doi: 10.1007/s00428-017-2135-x. Epub 2017 May 4. No abstract avail-

(8)

病態制御医学系 器官病態学講座

- able.
- 3) Koyama, K., Maeda, D., Tamura, D., Narita, C., Kudo-Asabe, Y., Sato, T., Yamamoto, Y., Sageshima, M., Nanjo, H. and Goto, A. (2017) Fetal gut-like differentiation in gallbladder cancer. *Hum. Pathol.*, **70**, 27-34. doi : 10.1016/j.humpath.2017.09.009. Epub 2017 Sep 29.
 - 4) Saito, M., Saito, K., Shiraiishi, K., Maeda, D., Suzuki, H., Minamiya, Y., Kono, K., Kohno, T. and Goto, A. (2017) Identification of candidate responders for anti-PD-L1/PD-1 immunotherapy, Rova-T therapy, or EZH2 inhibitory therapy in small-cell lung cancer. *Mol. Clin. Oncol.*, **8**(2), 310-314. doi : 10.3892/mco.2017.1536. Epub 2017 Dec 12.
 - 5) Saito, M., Goto, A., Abe, N., Saito, K., Maeda, D., Ohtake, T., Murakami, Y. and Takenoshita, S. (2017) Decreased expression of CADM1 and CADM4 are associated with advanced stage breast cancer. *Oncol. Lett.*, **15**(2), 2401-2406. doi : 10.3892/ol.2017.7536. Epub 2017 Dec 6.
 - 6) Akiyama, Y., Maeda, D., Morikawa, T., Niimi, A., Nomiya, A., Yamada, Y., Igawa, Y., Goto, A., Fukayama, M. and Homma, Y. (2017) Digital quantitative analysis of mast cell infiltration in interstitial cystitis. *Neurourol. Urodyn.*, **37**(2), 650-657. doi : 10.1002/nau.23365. Epub 2017 Oct 24.
 - 7) Takahashi, K., Mashima, H., Miura, K., Maeda, D., Goto, A., Goto, T., Sun-Wada, G.H., Wada, Y. and Ohnishi, H. (2017) Disruption of Small GTPase Rab7 Exacerbates the Severity of Acute Pancreatitis in Experimental Mouse Models. *Sci. Rep.*, **7**(1), 2817. doi : 10.1038/s41598-017-02988-3.
 - 8) Kimura, H., Eguchi, S., Sasaki, J., Kuba, K., Nakanishi, H., Takasuga, S., Yamazaki, M., Goto, A., Watanabe, H., Itoh, H., Imai, Y., Suzuki, A., Mizushima, N. and Sasaki, T. (2017) Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy. *JCI Insight*, **2**(1), e89462. doi : 10.1172/jci.insight.89462.
 - 9) Seow, W.J., Matsuo, K., Hsiung, C.A., Shiraiishi, K., Song, M., Kim, H.N., Wong, M.P., Hong, Y.C., Hosgood, H.D. 3rd., Wang, Z., Chang, I.S., Wang, J.C., Chatterjee, N., Tucker, M., Wei, H., Mitsudomi, T., Zheng, W., Kim, J.H., Zhou, B., Caporaso, N.E., Albanes, D., Shin, M.H., Chung, L.P., An, S.J., Wang, P., Zheng, H., Yatabe, Y., Zhang, X.C., Kim, Y.T., Shu, X.O., Kim, Y.C., Bassig, B.A., Chang, J., Ho, J.C., Ji, B.T., Kubo, M., Daigo, Y., Ito, H., Momozawa, Y., Ashikawa, K., Kamatani, Y., Honda, T., Sakamoto, H., Kunitoh, H., Tsuta, K., Watanabe, S.I., Nokihara, H., Miyagi, Y., Nakayama, H., Matsumoto, S., Tsuboi, M., Goto, K., Yin, Z., Shi, J., Takahashi, A., Goto, A., *et al.* (2017) Association between GWAS-identified lung adenocarcinoma susceptibility loci and EGFR mutations in never-smoking Asian women, and comparison with findings from Western populations. *Hum. Mol. Genet.*, **26**(2), 454-465. doi : 10.1093/hmg/ddw414.
 - 10) Oki, S., Sone, K., Oda, K., Hamamoto, R., Ike-mura, M., Maeda, D., Takeuchi, M., Tanikawa, M., Mori-Uchino, M., Nagasaka, K., Miyasaka, A., Kashiyama, T., Ikeda, Y., Arimoto, T., Kuramoto, H., Wada-Hiraike, O., Kawana, K., Fukayama, M., Osuga, Y. and Fujii, T. (2017) Oncogenic histone methyltransferase EZH2 : A novel prognostic marker with therapeutic potential in endometrial cancer. *Oncotarget*, **8**(25), 40402-40411. doi : 10.18632/oncotarget.16316.
 - 11) Shintani-Domoto, Y., Hayasaka, T., Maeda, D., Masaki, N., Ito, T.K., Sakuma, K., Tanaka, M., Kabashima, K., Takei, S., Setou, M. and Fukayama, M. (2017) Different desmin peptides are distinctly deposited in cytoplasmic aggregations and cytoplasm of desmin-related cardiomyopathy patients. *Biochim. Biophys. Acta*, **1865**(7), 828-836. doi : 10.1016/j.bbapap.2017.03.006. Epub 2017 Mar 21.
 - 12) Yoshioka, M., Uchinami, H., Watanabe, G., Iida, M., Nakagawa, Y., Miyazawa, H., Yoshida, M. and Yamamoto, Y. (2017) Domino Reconstruction of the Portal Vein Using the External Iliac Vein and an ePTFE Graft in Pancreatic Surgery. *J. Gastrointest. Surg.*, **21**(8), 1278-1286. doi : 10.1007/s11605-017-3413-2. Epub 2017 Apr 4.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 106th Annual Meeting of United States & Canadian Academy of Pathology, March, San Antonio, USA

- 1) Kito, M., Maeda, D., Terada, Y. and Goto, A. (2017) MED12 mutation in uterine adenomyoma
- 2) Tamura, D., Maeda, D., Halimi, S.A., Okimura, M., Terada, Y. and Goto, A. (2017) Uterine adenomatoid tumor: A neoplasm having frequent association with immunosuppressive therapy
- 3) Halimi, S.A., Maeda, D. and Goto, A. (2017) Detection of incidental lobular endocervical glandular hyperplasia in hysterectomy specimens removed for non-cervical lesions

2. Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology | Peripheral Vascular Disease 2017 Scientific Sessions, May, Minneapolis, USA

- 1) Ito, Y., Yoshida, M., Masuda, H., Maeda, D. and Goto, A. (2017) A novel model of spontaneous arteriovenous fistula formation

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 42 回日本微小循環学会総会, 3 月, 富山

- 1) Ito, Y., Nanjo, H., Yoshida, M. and Goto, A. (2017) An experimental study on the effect of treadmill exercise using a mouse brain ischemia model

2. 第 106 回日本病理学会総会, 4 月, 東京

- 1) 前田大地, 後藤啓介, 工藤幸紹, 日比谷孝志, 林 玲匡, 深山正久, 大橋健一, 後藤明輝 (2017) 乳頭状汗腺腫における PIK3CA 遺伝子変異と AKT1 遺伝子変異
- 2) 吉田 誠, 伊藤行信, 前田大地, 浅部幸紹, 南條 博, 増田弘毅, 後藤明輝 (2017) 新生子期心筋細胞の分化成熟過程における形態解析
- 3) 伊藤行信, 高橋正人, 吉田 誠, 増田弘毅, 後藤明輝 (2017) ウサギ静脈狭窄モデルにおける血管内膜肥厚とその要因
- 4) 馬越通信, 前田大地, 田村大輔, 後藤明輝 (2017) 子宮体癌手術時に子宮, 卵巣, 骨盤リンパ節への広がり確認されたリンパ管筋腫症の 1 例

5) 工藤-浅部幸紹, 前田大地, 伊藤行信, 後藤明輝 (2017) 秋田大学における既存装置のみを用いた組織透明化の試み

6) 木藤正彦, 前田大地, 後藤明輝 (2017) 子宮腺筋腫における MED12 変異

7) 田村大輔, 前田大地, 沖村聖人, 後藤明輝 (2017) 子宮アデノマトイド腫瘍と免疫抑制治療の相関

8) ハリミ スルタン・アメット, 前田大地, 田村大輔, 後藤明輝 (2017) Incidence of LEGH in hysterectomy specimens removed for non-cervical lesions

9) 小山 慧, 前田大地, 木藤正彦, 工藤幸紹, 後藤明輝 (2017) 正常卵管に存在する β -catenin 異常細胞集塊 “ β -catenin signature”

10) 中村みのり, 小山 慧, 吉田 誠, 前田大地, 後藤明輝 (2017) Elastica-Masson 染色と免疫染色の二重染色における, 肺癌の静脈浸潤判定の検討

11) 月田 光, 吉田 誠, 前田大地, 浅部幸紹, 南條 博, 後藤明輝 (2017) 膀胱癌手術材料における Human Papilloma Virus 感染の検討

12) 土橋 洋, 後藤明輝, 松原大祐, 梶村春彦, 大井章史 (2017) 肺癌で AKT 遺伝子増幅に伴い変動する microRNA とそのターゲット

3. 第 59 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会, 7 月, 熊本

1) 前田大地 (2017) 病理医にとっての卵巣「境界悪性」腫瘍

2) 前田大地 (2017) 婦人科病理への思い

3) 西島 明, 織田克利, 長谷川幸清, 前田大地, 池村雅子, 神尊貴裕, 浅田佳代, 山本尚吾, 池田悠至, 深山正久, 藤原恵一, 大須賀穰, 藤井知行, 油谷浩幸 (2017) 卵巣明細胞腺癌において ARID1A/PIK3CA 両遺伝子野生型を示す症例の病理学的特徴

4. 第 76 回日本癌学会総会学術総会, 9 月, 横浜

1) 白石航也, 岡田随象, 桃沢幸秀, 國頭英夫, 清水公裕, 後藤明輝, 後藤功一, 松田文彦, 松尾恵太郎, 醍醐弥太郎, 久保充明, 河野隆志 (2017) 全ゲノム関連解析による EGFR 変異陽性肺腺癌に対する感受性遺伝子座の同定

(10)

病態制御医学系 器官病態学講座

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. 第28回生物学技術研究会, 2月, 岡崎
 - 1) 工藤-浅部幸紹 (2017) 秋田大学における既存装置のみを用いた組織透明化の試み
2. 第22回日本血管病理研究会, 11月, 東京
 - 1) 伊藤行信, 吉田 誠, 杉山達朗, 増田弘毅, 後藤明輝 (2017) 小腸潰瘍・穿孔にて発症した好酸球性多発血管炎性肉芽腫症 (チャージ・シュトラウス症候群) の一例

そ の 他

1. 公益信託循環器学研究振興基金—平成28年度研究発表会, 2月, 東京
 - 1) 伊藤行信 (2017) “動脈パッチ”を用いた血管新生の研究—新規の in vivo 血管新生誘導法—
2. 東北地区国立大学法人等技術職員研修会, 9月, 秋田
 - 1) 工藤幸紹 (2017) 秋田大学における既存装置のみを用いた組織透明化の試み

Akita J Med 45 (Suppl) : 11~12, 2018

病態制御医学系

分子機能学・代謝機能学講座

(旧生化学第一)

教 授	久 場 敬 司
助 教	小 泉 幸 央・山 口 智 和
助 教(兼)	夏 井 美 幸
大 学 院 生	小 澤 諒
技 術 系 補 佐 員	門 脇 歩 美 (~3月)

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Kimura, H., Eguchi, S., Sasaki, J., Kuba, K., Nakanishi, H., Takasuga, S., Yamazaki, M., Goto, A., Watanabe, H., Itoh, H., Imai, Y., Suzuki, A., Mizushima, N. and Sasaki, T. (2017) Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy. *JCI Insight*, **2**(1), e89462, 2017.
- 2) Sato, T., Sato, C., Kadowaki, A., Watanabe, H., Ho, L., Ishida, J., Yamaguchi, T., Kimura, A., Fukamizu, A., Penninger, J.M., Reversade, B., Ito, H., Imai, Y. and Kuba, K. (2017) ELABELA-APJ axis protects from pressure overload heart failure and angiotensin II-induced cardiac damage. *Cardiovasc. Res.*, Jun 1 ; **113**(7), 760-769.
- 3) Rodríguez-Gil, A., Ritter, O., Saul, V.V., Wilhelm, J., Yang, C.Y., Grosschedl, R., Imai, Y., Kuba, K., Kracht, M. and Schmitz, M.L. (2017) The CCR4-NOT complex contributes to repression of Major Histocompatibility Complex class II transcription. *Sci. Rep.*, Jun 14 ; **7**(1), 3547.
- 4) Freyer, L., Hsu, C.W., Nowotzschin, S., Pauli, A., Ishida, J., Kuba, K., Fukamizu, A., Schier, A.F., Hoodless, P.A., Dickinson, M.E. and Hadjantonakis, A.K. (2017) Loss of Apela peptide in mice causes low penetrance embryonic lethality and

defects in early mesodermal derivatives. *Cell Rep.*, Aug 29 ; **20**(9), 2116-2130.

- 5) 関 信輔, 場崎恵太, 小松幸恵, 塚本智史, 門脇歩美, 山口智和, 幸丸純貴, 福田康義, 矢野愛美, 小畑孝弘, 小代田宗一, 久場敬司, 西島和俊 (2017) 2種の guide RNA を同時に用いた CRISPR/Cas9 システムによる高率なノックアウトマウスの作出. 秋田医学 **44**(1), 37-43.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. Cutting Edge Developments in RNA Biology for the Control of Gene Expression, November, OIST, Okinawa

- 1) Kuba, K. (2017) RNA deadenylation-guided control of cardiac homeostasis

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 日本農芸化学会 2017 年度 (平成 29 年度) 大会, 3月, 京都
 - 1) 小泉幸央, 福島 淳, 夏井美幸, 門脇歩美, 山口智和, 今井由美子, 久場敬司 (2017) ゲノムワイド CRISPR/Cas9 ノックアウトライブラリーを用いた細胞毒性耐性遺伝子スクリーニングの試み
2. 第 90 回 日本薬理学会年会, 3月, 長崎
 - 1) 久場敬司 (2017) 心不全病態における RNA

(12)

病態制御医学系 分子機能学・代謝機能学講座

分解制御の新しい生理的意義 (シンポジウム)

3. 第 21 回 日本心不全学会学術集会, 10 月, 秋田
 - 1) 久場敬司 (2017) 心不全病態における RNA 分解制御の新しい生理的意義 (特別講演)
 - 2) 佐藤輝紀, 渡邊博之, 伊藤 宏, 久場敬司 (2017) 新規心不全治療標的としての Apelin/ELABELA-APJ 受容体システム (シンポジウム)
4. 第 27 回 日本循環薬理学会, 12 月, 名古屋
 - 1) 久場敬司 (2017) mRNA poly (A) 鎖制御に基づいた心臓の恒常性維持機構の解明 (シンポジウム)
5. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 Con-Bio2017, 12 月, 神戸
 - 1) 久場敬司 (2017) CCR4-NOT 複合体による Atg7 依存性細胞死制御を介した心機能制御の分子機構 (ワークショップ)

(b) 地方会

1. 日本生化学会東北支部第 83 回例会, 5 月, 仙台
 - 1) 小泉幸央, 長井賢一郎, 高 立娜, 山口智和, 夏井美幸, 今井由美子, 蓮見恵司, 杉山俊博, 久場敬司 (2017) 環状ペプチドマルホルミン A1 が賦活化する細胞性線溶活性における RSK1 の関与 (ポスター発表)
 - 2) 山口智和, 鈴木 享, 佐藤輝紀, 夏井美幸, 門脇歩美, 佐藤チトセ, 小泉幸央, 高橋明格, 山本 雅, 今井由美子, 久場敬司 (2017) CCR4-NOT 複合体による mRNA 代謝制御を介したアデニン核酸代謝制御機構の解析 (ポスター発表)
2. 第 68 回日本薬理学会北部会, 9 月, 富山
 - 1) 佐藤輝紀, 山口智和, 渡邊博之, 伊藤 宏, 今井由美子, 山本 雅, 久場敬司 (2017) 心臓リモデリングにおける CCR4-NOT deadenylase の機能解析
 - 2) 佐藤輝紀, 山口智和, 渡邊博之, 門脇歩美, 佐藤チトセ, 伊藤 宏, 今井由美子, 久場敬司 (2017) 心不全病態における新規 APJ リガンド ELABELA の機能的意義の解明

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. 第 5 回 CCR4-NOT 研究会, 2 月, 沖縄
 - 1) 山口智和 (2017) Cnot4 遺伝子欠損マウスにおける発達障害と肥満抑制についての解析
 - 2) 小泉幸央 (2017) Cnot3 による ES 細胞の

DNA 損傷誘発 G2 チェックポイント機構の制御

- 3) 佐藤輝紀 (2017) 心臓リモデリングにおける CCR4-NOT deadenylase の機能解析
2. 生理学研究所研究会 2017 「心臓・血管系の頑健性と精緻な制御を支える分子基盤の統合的解明, 10 月, 岡崎
 - 1) 久場敬司 (2017) mRNA poly (A) 鎖分解を介した心臓の恒常性維持機構の解明
3. 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 第 2 回 個体の中の細胞社会学ワークショップ, 11 月, 京都
 - 1) 久場敬司 (2017) mRNA poly (A) 分解を介した心臓の細胞社会維持のメカニズム

(ii) 地方規模

1. 秋田応用生命科学研究会 第 29 回, 5 月, 秋田
 - 1) 小泉幸央, 長井賢一郎, 高 立娜, 山口智和, 夏井美幸, 今井由美子, 蓮見恵司, 杉山俊博, 久場敬司 (2017) 環状ペプチドマルホルミン A1 は RSK1 依存的に細胞性線溶活性を賦活化する

そ の 他

1. 富山大学大学院特別セミナー, 6 月, 富山
 - 1) 久場敬司 (2017) New aspects of RNA decay in controlling heart function
2. 理化学研究所 IMS 疾患生物学セミナー, 9 月, 横浜
 - 1) 久場敬司 (2017) RNA deadenylation-guided regulation of cardiac homeostasis

報 告 書

- 1) 久場敬司 (2017) 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 実施状況報告書
- 2) 久場敬司 (2017) 日本学術振興会 科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究実施状況報告書
- 3) 小泉幸央 (2017) 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (C) 実施状況報告書
- 4) 山口智和 (2017) 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究 (B) 実施状況報告書
- 5) 久場敬司 (2017) 科学技術振興機構 科学研究費 さきがけ 実施状況報告書

Akita J Med 45 (Suppl) : 13~14, 2018

病態制御医学系

生 体 防 御 学 講 座

(旧寄生虫学)

教 授	石 井	聡
非常勤講師	板 垣	匡 (岩手大学農学部教授)
	石 井	直 人 (東北大学大学院医学系研究科教授)
准 教 授	丸 山	貴 司 (4月~)
助 教	安 田	大 恭
技 術 職 員	小 林	大 礎
事務系補佐員	岡 崎	靖 子

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Lin, S.-H., Steinhoff, M., Ikoma, A., Chang, Y.-C., Cheng, Y.-R., Kopparaju, R.C., Ishii, S., Sun, W.-H. and Chen, C.-C. (2017) Involvement of TRPV1 and TDAG8 in pruriception associated with noxious acidosis. *J. Invest. Dermatol.*, **137**, 170-178.
- 2) Dai, S.-P., Huang, Y.-H., Chang, C.-J., Huang, Y.-F., Hsieh, W.-S., Tabata, Y., Ishii, S. and Sun, W.-H. (2017) TDAG8 involved in initiating inflammatory hyperalgesia and establishing hyperalgesic priming in mice. *Sci. Rep.*, **7**, 41415.
- 3) Takara, K., Eino, D., Ando, K., Yasuda, D., Naito, H., Tsukada, Y., Iba, T., Wakabayashi, T., Muramatsu, F., Kidoya, H., Fukuhara, S., Mochizuki, N., Ishii, S., Kishima, H. and Takakura, N. (2017) Lysophosphatidic acid receptor 4 activation augments drug delivery in tumors by tightening endothelial cell-cell contact. *Cell Rep.*, **20**, 2072-2086.
- 4) Tanishima, M., Takashima, S., Honda, A., Yasuda, D., Tanikawa, T., Ishii, S. and MaruYama, T. (2017) Identification of optineurin as an interleukin-1 receptor-associated kinase 1-binding

protein and its role in regulation of MyD88-dependent signaling. *J. Biol. Chem.*, **292**, 17250-17257.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. FASEB Summer Research Conferences ; Lysophospholipid and Related Mediators : From Bench to Clinic, August, New Orleans, USA
- 1) Yasuda, D. and Ishii, S. (2017) $G\alpha_{12/13}$ -coupled LPA receptors mediate novel angiogenesis mechanism

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 59 回日本脂質生化学会大会, 6 月, 京都
 - 1) 安田大恭, 石井 聡 (2017) リゾホスファチジン酸による血管新生調節機序
2. 2017 年度生命科学系学会合同年次大会 (ConBio2017), 12 月, 神戸
 - 1) 丸山貴司, 大戸貴代, 石井 聡 (2017) リゾホスファチジン酸受容体 LPA5 を介した T 細胞の分化運命決定機序
 - 2) 安田大恭, 石井 聡 (2017) $G\alpha_{12/13}$ 共役型 リゾホスファチジン酸受容体が調節する血管新生の分子機序

(14)

病態制御医学系 生体防御学講座

(c) 研究会

1) 安田大恭, 石井 聡 (2017) 血管新生に働く

(ii) 地方規模

リゾホスファチジン酸シグナルの分子機構

1. 第3回生体調節研究所内分泌代謝シンポジウム,

11月, 群馬

Akita J Med 45 (Suppl) : 15~18, 2018

病態制御医学系

内 分 泌・代 謝・老 年 内 科 学 講 座

(旧老年医学)

教 授	山 田 祐 一 郎
准 教 授	成 田 琢 磨 (～9月)
講 師	藤 田 浩 樹
特 任 助 教	森 井 宰
助 教 員	佐 藤 雄 大
医 員	菅 沼 由 美 (社会人大学院生)
	福 岡 勇 樹
	清 水 辰 徳 (社会人大学院生 ～9月)
	奈 良 光 彦 (社会人大学院生)
	三ヶ田 敦 史 (～3月)
	保 泉 学 (社会人大学院生)
	山 田 芙 久 子 (社会人大学院生)
	高 嶋 悟 (9月～)
	安 藤 清 香
	加 藤 俊 祐 (社会人大学院生)
	佐 藤 優 洋 (～9月) (社会人大学院生)
	高 橋 和 之 (～3月) (社会人大学院生)
	大 友 瞳 (社会人大学院生)
	佐々木 可 奈 (4月～) (社会人大学院生)
	阿 部 咲 子 (4月～)
	大 高 いずみ
	佐 藤 純 一 (～2月) (社会人大学院生)
	高 橋 侑 也 (～3月)
	堀 江 泰 介 (4月～)
臨 床 心 理 士	戸 田 幸 子 (8月～)
技 術 系 補 佐 員	藤 嶋 広 美・坂 本 薫
	加 賀 谷 香 代 子
	TAYLA ANNE REES (9月～)
事 務 系 補 佐 員	高 島 康 子・坂 本 比 佐 子
	石 川 祐 子 (～11月)

著 書

- 1) 奈良光彦, 山田祐一郎 (2017) DPP-4 阻害薬. ケースに学ぶ高齢者糖尿病の診かた 患者さんを支える 43 のヒント. 南山堂, pp. 212-214.
- 2) 高橋和之, 山田祐一郎 (2017) DPP-4 阻害薬+メトホルミン. 高齢者における糖尿病治療薬の使い方. フジメディカル出版, pp. 98-101.
- 3) 安藤清香, 不聞麻貴, 山田祐一郎 (2017) パゾプレシン分泌過剰症 (SIADH). すぐに使える高齢者総合診療ノート第2版. 日本医事新報社, pp. 408-413.

総 説・解 説

- 1) 山田祐一郎 (2017) 特集にあたって. メディカルレビュー **28**, 147.
- 2) 高橋和之, 山田祐一郎 (2017) 食事による血糖調節—食事の質や量, 順番などによる血糖調節—. メディカルレビュー **28**, 174-179.
- 3) 栗崎 博, 角南由紀子, 梅津正矩, 播磨崇記, 佐藤 誠, 藤田浩樹 (2017) 心不全の発症を契機にミトコンドリア心筋症およびミトコンドリア糖尿病の診断に至った 1 例. *Diabetes Journal* **45**, 13-17.
- 4) 藤田浩樹 (2017) 糖尿病腎症発症・進展阻止に有効な新たな薬物療法. プラクティス **34**, 260-266.
- 5) 清水辰徳, 山田祐一郎 (2017) 薬物治療 (経口薬, GLP-1 受容体作動薬, インスリン, 服薬管理). 医学出版 **102**, 58-64.
- 6) 福岡勇樹, 山田祐一郎 (2017) 秋田大学医学部附属病院の老年医療. 日本老年医学会雑誌 **54**, 417-419.
- 7) 加藤俊祐, 山田祐一郎 (2017) Semaglutide と 2 型糖尿病患者における心血管アウトカム. メディカルレビュー **6**, 26-28.
- 8) 藤田浩樹, 高嶋 悟 (2017) 腎症と GLP-1. 糖尿病 **60**, 576-578.
- 9) 保泉 学, 山田祐一郎 (2017) GLP-1 受容体作動薬 (注射剤) 使用時の留意点. 日本臨牀 **75**, 1695-1699.
- 10) 菅沼由美, 成田琢磨 (2017) 食後高血糖と炭

水化物の関連—インクレチンによる調節機構, 薬物治療との関連—. プラクティス **34**(6), 591-595.

- 11) 成田琢磨 (2017) 高齢者糖尿病患者における低血糖への対応. 医学書院 **15**(2), 126-131.
- 12) 阿部咲子, 山田祐一郎 (2017) SUSTAIN-6 : Semaglutide の心血管安全性. メジカルレビュー **16**(4), 26-30.
- 13) 成田琢磨 (2017) 糖尿病を専門とするようになったきっかけ. 糖尿病ケア **14**(12), 1079.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Shimizu, T., Sato, T., Tsukiyama, K., Fujita, H., Kato, S., Hoizumi, M., Shirasawa, H., Narita, T., Terada, Y., Seino, Y. and Yamada, Y. (2017) Food Intake Affects Sperm-Egg Fusion Through the GIP/PSG17 Axis in Mice. *Endocrinology*, **158**(7), 2134-2144.
- 2) Yamada, Y., Senda, M., Naito, Y., Tamura, M., Watanabe, D., Shuto, Y. and Urita, Y. (2017) Reduction of postprandial glucose by lixisenatide vs sitagliptin treatment in Japanese patients with type 2 diabetes on background insulin glargine : A randomized phase IV study (NEXTAGE Study). *Diabetes Obes. Metab.*, **19**(9), 1252-1259.
- 3) Mantelmacher, F.D., Fishman, S., Cohen, K., Pasmannik Chor, M., Yamada, Y., Zvibel, I. and Varol, C. (2017) Glucose-Dependent Insulinotropic Polypeptide Receptor Deficiency Leads to Impaired Bone Marrow Hematopoiesis. *J. Immunol.*, **198**(8), 3089-3098.
- 4) Terauchi, Y., Yamada, Y., Ishida, H., Ohsugi, M., Kitaoka, M., Satoh, J., Yabe, D., Shihara, N. and Seino, Y. (2017) Efficacy and safety of sitagliptin as compared with glimepiride in Japanese patients with type 2 diabetes mellitus aged ≥ 60 years (START-J trial). *Diabetes Obes. Metab.*, **19**(8), 1188-1192.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 30th Spring Congress of Korean Diabetes Association, May, Korea (Busan)
 - 1) Yamada, Y. (2017) Extra-pancreatic effects of incretin
2. The 53rd Annual meeting of European association for the study of diabetes, September, Portugal (Lisbon)
 - 1) Watada, H., Shiramaoto, M., Irie, S., Terauchi, Y., Yamada, Y., Shiosakai, K., Myobatake, Y. and Taguchi, T. (2017) DS-8500a, a GPR119 Agonist, Enhanced insulin Secretory Capacity in a Hyperglycemic Clamp Study in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus
 - 2) Terauchi, Y., Yamada, Y., Watada, H., Nakatsuka, Y., Shiosakai, K., Washio, T. and Taguchi, T. (2017) DS-8500a, a GPR119 Agonist, Showed a Significant Glucose-Lowering Effect in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus who have Inadequate Glycemic Control with Sitagliptin Therapy
3. 5th VINEP Workshop for “Strengthening the training and use of nutrition manpower, and clinical nutrition for critically ill patients”, Nov, Vietnam (Hanoi)
 - 1) Yamada, Y. (2017) Diabetes Therapy with Nutrition
4. IDF 2017 Congress, Dec, UAE (Abu Dhabi)
 - 1) Yamada, Y. (2017) Renal Actions : Incretins and their pleiotropic actions

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 31 回日本糖尿病・肥満動物学会次学術集会, 2 月, 横浜
 - 1) 保泉 学, 清水辰徳, 佐藤雄大, 山田祐一郎 (2017) GIP の行動に与える影響
2. 第 51 回糖尿病学の進歩, 2 月, 京都
 - 1) 山田祐一郎 (2017) インクレチンの分類と作用 (指定講演)
3. 第 114 回内科学会学術集会, 4 月, 東京
 - 1) 福岡勇樹, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 糖尿病・内分泌内科, 老年内科における高齢者糖尿病のサ

ルコペニアの調査研究

4. 第 60 回日本糖尿病学会学術集会, 5 月, 名古屋
 - 1) 保泉 学, 山田祐一郎 (2017) GIP の行動と寿命に与える影響 (シンポジウム)
 - 2) 奈良光彦, 成田琢磨, 佐々真理子, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 山田祐一郎 (2017) 北秋田市住民健診における正常アルブミン尿受診者の 5 年後微量アルブミン尿進展, eGFR 低下を規定する因子の検討
 - 3) 山田祐一郎, 中村二郎, 植木浩二郎, 谷澤幸生, 綿田裕孝, 下村伊一郎, 西村理明, 山崎 力, 門脇 孝 (2017) 大規模臨床研究 J-BRAND Registry : 第 4 回中間報告
 - 4) 加来浩平, 山田祐一郎, 綿田裕孝, 安孫子亜津子, 西田朋由, Jeppe Zacho, 清末有宏 (2017) 日本人 2 型糖尿病患者を対象とした週 1 回セマグルチド単独又は経口薬との併用療法の安全性・有効性の検討—経口薬追加との比較
 - 5) 菅沼由美, 高橋和之, 三ヶ田敦史, 福岡勇樹, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 日本人 2 型糖尿病患者における GLP-1 受容体作動薬投与による胃排出能の血糖変動との関連
 - 6) 亀田博之, 仙田雅之, 内藤裕介, 田村昌博, 寺内康夫, 山田祐一郎 (2017) リキスミア皮下注に関する特定使用成績調査 (Prandial Study)—投与 6 か月集計報告—
 - 7) 佐藤優洋, 三ヶ田敦史, 横山宏樹, 堀川洋平, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) ミグリトール, シタグリプチンおよびその併用療法患者におけるインピーダンス法を用いた体組成変化の検討
 - 8) 河谷昌泰, 山田祐一郎, 河谷正仁 (2017) 最後野ニューロンにおける GLP-1 の効果
5. 第 59 回日本老年医学学会学術集会, 6 月, 名古屋
 - 1) 福岡勇樹, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 高齢者糖尿病におけるサルコペニアの関連因子の検討
6. 第 39 回日本臨床栄養学会, 10 月, 幕張
 - 1) 山田祐一郎 (2017) サルコペニア・フレイル (パネル)
7. 第 38 回日本肥満学会, 10 月, 大阪
 - 1) 矢田俊彦, 岩崎有作, 仙度光麻, 比良 徹, 佐藤雄大, Chayon Goswami, 原 博, 山田祐一郎, 徳田雅明, 出崎克也 (2017) 希少糖

(18) 病態制御医学系 内分泌・代謝・老年内科学講座

- Allulose の GLP-1 放出と求心性迷走神経を介した過食・肥満・糖尿病改善
8. 第 60 回日本甲状腺学会, 10 月, 大分
- 1) 安藤清香, 山田祐一郎, 成田琢磨, 森井 宰, 福岡勇樹, 菅沼由美, 保泉 学, 高嶋 悟, 加藤俊祐, 大友 瞳, 佐々木可奈, 大高いずみ, 堀江泰介 (2017) 炭酸リチウム投与後にバセドウ病を発症した一例 (ポスター)
- (b) 地方会
1. 第 35 回日本内分泌学会東北支部学術集会, 10 月, 秋田
 - 1) 阿部咲子, 堀江泰介, 安藤清香, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 妊娠に合併した褐色細胞腫の一例
 - 2) 大高いずみ, 安藤清香, 三ヶ田敦史, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 右副腎クッシング症候群摘除 6 年後に再発したクッシング症候群の 1 例
 - 3) 高嶋 悟, 大高いずみ, 清水辰徳, 照井はな子, 小川和孝, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 仮面尿崩症や抑うつ症状により診断に難渋した炎症性下垂体疾患が疑われる一例
 2. 第 28 回日本老年医学会東北地方会, 10 月, 弘前
 - 1) 福岡勇樹, 大友 瞳, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 認知機能低下を契機に診断された高齢発症バセドウ病の 1 例
 - 2) 山田祐一郎 (2017) 高齢者の糖尿病診療 (教育講演)
 3. 第 55 回日本糖尿病学会東北地方会, 11 月, 仙台
 - 1) 堀江泰介, 阿部咲子, 安藤清香, 佐藤雄大, 福岡勇樹, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 妊娠糖尿病に著明な高中性脂肪血症を合併した一例
 - 2) 高嶋 悟, 照井はな子, 小川和孝, 五十嵐龍馬, 佐藤雄大, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 高度の低リン血症を呈し Refeeding 症候群の発症に注意を要した低血糖の一例
 - 3) 大高いずみ, 清水辰徳, 佐藤雄大, 森井 宰, 藤田浩樹, 成田琢磨, 山田祐一郎 (2017) 多発糖尿病合併症を有し血糖コントロール不良の患者に発症した胃蜂窩織炎の一例

Akita J Med 45 (Suppl) : 19~24, 2018

病態制御医学系

総合診療・検査診断学講座

(旧感染・免疫アレルギー・病態検査学)

教授	廣川	誠	
准教授	植木	重治	
非常勤講師	三浦	一樹	(藤原記念病院 診療顧問)
	朝野	和典	(大阪大学医学部附属病院教授)
	岡田	唯男	(亀田ファミリークリニック院長)
	小林	良樹	(関西医科大学講師)
	伊藤	亘	(流山東部診療所)
	玉木	真実	(玉木デンタルクリニック)
講師(併)	守時	由起	
医学部講師	嵯峨	知生	
助教	面川	歩	
医員	嵯峨	亜希子	
	長谷川	諒	(4月~)
	渡部	健	(4月~)
大学院生	山内	由美子	(~3月)
	福地	峰世	(4月~)
修士課程	中村	由夏	(~3月)
技術系補佐員	加藤	香織・丹	典子
	見澤	里美	(6月~)

著書

- 1) 廣川 誠 (2017) 赤芽球癆. 小澤敬也, 中尾眞二, 松村 到 (編) 血液疾患最新の治療 2017-2019. 南江堂, 東京, pp. 109-112.
- 2) 廣川 誠 (2017) 赤芽球癆. 猿田享男, 北村惣一郎 (監) 1336 専門家による私の治療. 2017-18 年度版. 日本医事新報社, 東京, pp. 693-694.
- 3) 廣川 誠 (2017) 赤芽球癆. 桐戸敬太 (企画) 貧血症 診断と治療の ABC 125. 最新医学社, 大阪, pp. 99-106.
- 4) 植木重治 (2017) 好酸球性食道炎・好酸球性

胃腸炎. 福井次矢, 高木 誠, 小室一成 (監) 今日の治療指針 2017 年版. 医学書院, 東京, pp. 793-794.

- 5) 嵯峨知生 (2017) Question11. 非定型肺炎らしいんだけど, どんな検査をしたらいいの? 柳原克紀 (編) 感染症の診断って, こんなちょっとしたことで差がついちゃうんですね. 南江堂, 東京, pp. 28-29.

総説・解説

- 1) 廣川 誠 (2017) 貧血症—最新の診断・治療動向—. 日本臨牀社 75(1), 431-436.

(20)

病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座

- 2) 廣川 誠 (2017) 後天性赤芽球疹の特徴と治療の実際. 新薬と臨床 **66**(3), 62-67.
- 3) 廣川 誠 (2017) 成人大球性貧血の診断. *Medical Practice* **34**(7), 1213.
- 4) 植木重治, 今野泰典, 廣川 誠 (2017) 好中球と好酸球の Extracellular trap cell death. 分子呼吸器病 **21**(1), 12-15.
- 5) Ueki, S., Ohta, N., Takeda, M., Konno, Y. and Hirokawa, M. (2017) Eosinophilic Otitis Media : the Aftermath of Eosinophil Extracellular Trap Cell Death. *Curr. Allergy Asthma Rep.*, **17**(5), 33.
- 6) 植木重治 (2017) アレルギー・好酸球性炎症の病態解明. *Akita J. Med.* **44**(1), 11-17.
- 7) 植木重治 (2017) AST・ALT は正常で肝機能は問題ありません. *Medical Practice* **34**(9), 1548.
- 8) 植木重治, 山田佳之 (2017) 第10回国際好酸球学会シンポジウム 10th Biennial Symposium of the International Eosinophil Society. 臨床免疫・アレルギー科 **68**(4), 452-454.
- 9) Nagao, T. and Hirokawa, M. (2017) Diagnosis and treatment of macrocytic anemias in adults. *J. Gen. Fam. Med.*, **18**(5), 200-204.
- 10) 竹田正秀, 植木重治, 廣川 誠 (2017) 好酸球の新しい細胞死: ETosis. *アレルギー・免疫* **24**(5), 48-53.
- 11) 齋藤秀和, 植木重治, 本田耕平, 廣川 誠 (2017) 自然免疫における好酸球の役割. *アレルギーの臨床* **37**(3), 17-21.
- 12) 小熊マリ子, 鎌田由美子, 菊地優子, 山本梨絵, 富谷陽子, 小林則子, 面川 歩, 植木重治, 嵯峨知生, 廣川 誠 (2017) ISO15189 国際認定取得に向けた中央検査部の取り組み (秋田大学). *臨床病理* **65**(2), 225-226.
- no, K., Figueiredo, R.T. and Neves, J.S. (2017) Eosinophils release extracellular DNA traps in response to *Aspergillus fumigatus*. *J. Allergy Clin. Immunol.* (in press)
- 3) Omokawa, A., Ueki, S., Kikuchi, Y., Takeda, M., Asano, M., Sato, K., Sano, M., Ito, H. and Hirokawa, M. (2017) Mucus plugging in allergic bronchopulmonary aspergillosis : Implication of the eosinophil DNA traps. *Allergol. Int.* (in press)
- 4) Yanada, M., Kurosawa, S., Kobayashi, T., Ozawa, Y., Kanamori, H., Kobayashi, N., Sawa, M., Nakamae, H., Uchida, N., Hashimoto, H., Fukuda, T., Hirokawa, M., Atsuta, Y. and Yano, S. (2017) Reduced-intensity conditioning allogeneic hematopoietic cell transplantation for younger patients with acute myeloid leukemia : a registry-based study. *Bone Marrow Transplant.*, **52**(6), 818-824.
- 5) Saito, N., Itoga, M., Kimura, M., Inoue, F., Minakawa, S., Kimura, T., Ozaki, H., Saito, Y., Takahashi, M., Fujishima, T., Mizuno, S., Ogawa, S., Kitayama, Y., Kudo, K., Minami, K., Abo, F., Takano, Y., Ohdaira, N., Hamada, S., Ueki, S., Hirokawa, M. and Kayaba, H. (2017) Evaluating effectiveness of infection control efforts in hospitals using information in microbiological laboratory databases. *J. Gen. Fam. Med.*, **18**(6), 354-359.
- 6) Ohta, N., Ueki, S., Konno, Y., Hirokawa, M., Kubota, T., Tomioka-Matsutani, S., Suzuki, T., Ishida, Y., Kawano, T., Miyasaka, T., Takahashi, T., Suzuki, T., Ohno, I., Kakehata, S. and Fujieda, S. (2017) ETosis-derived DNA trap production in middle ear effusion is a common feature of eosinophilic otitis media. *Allergol. Int.* (in press)
- 7) Matsumoto, K., Ichimura, M., Tsuneyama, K., Moritoki, Y., Tsunashima, H., Omagari, K., Hara, M., Yasuda, I., Miyakawa, H. and Kikuchi, K. (2017) Fructo-oligosaccharides and intestinal barrier function in a methionine—choline-deficient mouse model of nonalcoholic steatohepatitis. *PLoS One*, **12**(6), e0175406.
- 8) Kaga, H., Komatsuda, A., Omokawa, A., Okuyama, S., Mori, K., Wakui, H. and Takahashi, N.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Persson, C. and Ueki, S. (2017) Lytic eosinophils produce extracellular DNA traps as well as free eosinophil granules. *J. Allergy Clin. Immunol.* (in press)
- 2) Muniz, V.S., Silva, J.C., Braga, Y.A.V., Melo, R.C.N., Ueki, S., Takeda, M., Hebisawa, A., Asa-

(2017) Analysis of PLA2R1 and HLA-DQA1 sequence variants in Japanese patients with idiopathic and secondary membranous nephropathy. *Clin. Exp. Nephrol.* (in press)

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 10th Biennial Symposium of the International Eosinophil Society, July, Sweden
 - 1) Ueki, S., Konno, Y., Omokawa, A., Saga, T., Takeda, M., Moritoki, Y. and Hirokawa, M. (2017) PI3K/MAPK blockade inhibits eosinophil extracellular trap cell death
 - 2) Muniz, V.S., Silva, J.C., Braga, Y.A.V., Melo, R.C.N., Ueki, S., Takeda, M., Hebisawa, A., Asano, K., Figueiredo, R.T. and Neves, J.S. (2017) Eosinophils and Aspergillus fumigatus infection : a DNA trap release story
2. RCGP Annual Primary Care Conference & Exhibition, October, ACC Liverpool
 - 1) Watanabe, K. and Matsumoto, T. (2017) Vocational Training Schemes of GP in Japan
3. 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WAS-PaLM), November, Kyoto
 - 1) Fukuchi, M., Ueki, S., Takeda, M., Omokawa, A., Saga, T., Hebisawa, A., Asano, K., Neves, J. and Hirokawa, M. (2017) Eosinophil extracellular traps are abundant in the bronchial mucus plugs of patients with ABPA
4. 59th Annual Meeting and Exposition, December, Georgia
 - 1) Fujishima, N., Togashi, M., Hasegawa, R., Watanabe, K., Saga, A., Omokawa, A., Saga, T., Ueki, S., Takahashi, N., Kitamura, N., Suzuki, R. and Hirokawa, M. (2017) High-Throughput Sequencing of IgG B-Cell Receptors Reveals the Frequent Usage of the Rearranged IGHV4-28//IGHJ4 Gene in Primary Immune Thrombocytopenia in Adults
 - 2) Hirokawa, M., Fujishima, N., Teramura, M., Sawada, K., Bessho, M., Dan, K., Tsurumi, H., Nakano, S., Urabe, A., Fujisawa, S., Yonemura, Y., Kawano, F., Sugimoto, K., Matsuda, A., Karasa-

wa, M., Arai, A., Komatsu, N., Harigae, H., Tohyama, K., Saito-Moriya, A., Matsumura, I., Omine, M., Ozawa, K., Kurokawa, M., Arai, S. and Mitani, K. (2017) Identification of Adverse Risk Factors for Survival in Acquired Pure Red Cell Aplasia Receiving Immunosuppressive Therapy By the Japan PRCA2004/2006 Study and Introduction to the New Cohort Study PRCA2016

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第 28 回日本臨床微生物学会総会, 1 月, 長崎
 - 1) 安保康太郎, 嵯峨知生, 達子瑠美, 面川 歩, 岩谷麻由, 鎌田尚未, 高橋智映, 小林則子, 植木重治, 廣川 誠 (2017) 自動機器で *Acinetobacter baumannii* と判定された臨床分離菌株を対象とした *Acinetobacter* 属菌用 POT キットの菌種推定性能の評価
2. 第 32 回日本環境感染学会総会, 2 月, 神戸
 - 1) 嵯峨知生, 廣川 誠 (2017) 国際資源学部学生の開発途上国での海外実習に対応した渡航前教育の試み
 - 2) 中村美央, 嵯峨知生, 廣川 誠, 石川陽子, 渡辺恵美 (2017) 皮膚粘膜曝露報告事例の分析からみえた課題
3. 第 90 回日本細菌学会総会, 3 月, 仙台
 - 1) 嵯峨知生, 面川 歩, 安保康太郎, 鎌田尚未, 岩谷麻由, 達子瑠美, 高橋智映, 小林則子, 植木重治, 廣川 誠 (2017) 次世代の薬剤感受性検査法: 現状と展望 (シンポジウム)
4. 第 91 回日本感染症学会総会・学術講演会, 4 月, 東京
 - 1) 嵯峨知生, 面川 歩, 植木重治, 奥山 慎, 廣川 誠 (2017) 臨床分離アシネトバクター属菌の POT キットの菌種推定能のドラフト全ゲノム配列での評価
5. 第 114 回日本内科学会総会・講演会, 4 月, 東京
 - 1) 面川 歩, 嵯峨亜希子, 嵯峨知生, 守時由起, 植木重治, 廣川 誠 (2017) 特定機能病院における総合診療部の役割
 - 2) 長谷川諒, 植木重治, 嵯峨知生, 面川 歩, 畠山 卓, 廣川 誠 (2017) Immunocompetent 患者に生じた *K. pneumoniae* による化膿性脊椎炎

(22)

病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座

6. 第66回日本アレルギー学会学術大会, 6月, 東京
- 1) 植木重治, 竹田正秀, 中村由夏, 丹典子, 廣川 誠, Akuthota P, Rossana CNM (2017) ヒト好酸球から産生される extracellular microvesicles
 - 2) 桑原敏彰, 小林良樹, 尹泰貴, 神田 晃, 岩井 大, 廣川 誠, 朝子幹也, 植木重治 (2017) 喘息合併好酸球性副鼻腔炎の加療中に発症した好酸球性胆嚢炎の一症例
7. 第44回生体分子科学討論会, 6月, 秋田
- 1) 松村洋寿, 杉島小雪, 面川 歩, 布村 渉, 堂前 直, 尾高雅文, 廣川 誠, 涌井秀樹 (2017) メトトレキサート新規標的タンパク質としてのマクロファージ遊走阻害因子の同定と構造機能解析
 - 2) 杉島小雪, 松村洋寿, 面川 歩, 布村 渉, 尾高雅文, 廣川 誠, 涌井秀樹 (2017) リウマチ薬メトトレキサートと新規標的タンパク質であるマクロファージ遊走阻害因子との相互作用解析
8. 第79回日本血液学会学術集会, 10月, 東京
- 1) 廣川 誠, 藤島直仁, 澤田賢一, 張替秀郎, 松田 晃, 小松則夫, 通山 薫, 米村雄士, 中尾眞二, 齋藤明子, 松村 到, 荒井俊也, 黒川峰夫 (2017) 後天性慢性赤芽球癆の長期予後を明らかにするための多施設共同前向き観察研究 (PRCA2016) 中間報告
9. 第64回 日本臨床検査医学会学術集会, 11月, 京都
- 1) 植木重治, 竹田正秀, 面川 歩, 嵯峨知生, 廣川 誠 (2017) 活性化したヒト好酸球から産生される細胞外小胞の特徴
10. グローバルヘルス合同学会2017 (第21回日本渡航医学会学術総会), 11月, 東京
- 1) 嵯峨知生, 面川 歩, 植木重治, 須田智美, 遠田耕平, 長谷川仁志, 廣川 誠 (2017) 非医療系学部学生の開発途上国での海外実習に対応した渡航前教育の試み
- (b) 地方会
1. 第7回日本検査血液学会東北支部総会・学術集会, 5月, 盛岡
 - 1) 廣川 誠 (2017) 難治性貧血診断への形態学的アプローチ (シンポジウム)
 2. 第65回日本耳鼻咽喉科東北地方部会連合学術講演会, 7月, 秋田
 - 1) 嵯峨知生 (2017) 専門医共通講習 (感染対策) 耳鼻咽喉科領域における病原微生物の薬剤耐性の基礎と臨床
3. 第28回日本臨床化学会東北支部総会, 7月, 秋田
- 1) 嵯峨知生, 安保康太郎, 鎌田尚未, 岩谷麻由, 達子瑠美, 高橋智映, 小林則子, 面川 歩, 植木重治, 廣川 誠 (2017) 臨床微生物検査室における次世代シークエンサ活用の展望と課題 (シンポジウム)
 - 2) 植木重治, 守時由起, 嵯峨知生, 面川 歩, 廣川 誠 (2017) 秋田大学の研究活動の紹介 (シンポジウム)
 - 3) 高橋 緑, 山本梨絵, 平澤裕之, 阿部綾奈, 今野裕子, 藤田美好, 小林則子, 面川 歩, 嵯峨知生, 植木重治, 廣川 誠 (2017) カルシウム補正式の比較検討
4. 公益社団法人日本麻酔科学会 2017年度支部学術集会 北海道・東北支部第7回学術集会, 9月, 秋田
- 1) 植木重治 (2017) 今さら聞けない? 感染制御チーム (ICT) について (教育講演)
5. 平成29年度日臨技北日本支部医学検査学会 (第6回), 10月, 秋田
- 1) 廣川 誠, 面川 歩 (2017) R-CPC「検査が説明できる臨床検査技師」の時代に (ワークショップ)
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. 第2回肺トランスレーショナルメディシン研究会, 3月, 東京
 - 1) 植木重治 (2017) 好酸球と Extracellular trap cell death
 2. 第1回重症喘息バーチャルフォーラム, 8月, 東京
 - 1) 植木重治 (2017) 喘息における治療ターゲットとしてのIL-5/好酸球
 3. アレルギー・好酸球研究会2017, 10月, 東京
 - 1) 竹田正秀, 植木重治, 福地峰世, 面川 歩, 嵯峨知生, 蛇澤 晶, 浅野浩一郎, 廣川 誠 (2017) ABPA患者の粘液栓における extracellular traps (ETs) の証明
 4. 第26回 Pneumo Forum 慢性呼吸器疾患の病因・病態解明, 11月, 東京

- 1) 竹田正秀, 植木重治, 福地峰世, 今野泰典, 面川 歩, 嵯峨知生, 佐藤一洋, 佐野正明, 廣川 誠 (2017) アレルギー性気道炎病態における好酸球の運命決定機構の解明
- (ii) 地方規模
1. Scientific Exchange Meeting in Tohoku～気管支喘息 COPD Clinical Hot Topics～, 5月, 仙台
 - 1) 植木重治 (2017) 気管支喘息 Year in Review 2016
 2. 第5回北東北感染制御セミナー, 6月, 秋田
 - 1) 嵯峨知生 (2017) 地方におけるグローバル感染症への備え
 3. 第51回東北アレルギー懇話会, 7月, 盛岡
 - 1) 福地峰世, 植木重治, 竹田正秀, 今野泰典, 面川 歩, 嵯峨知生, 嵯峨亜希子, 廣川 誠, 蛇澤 晶, 浅野浩一郎 (2017) アレルギー性気管支肺アスペルギルス症の粘液栓における好酸球 ETosis
 4. 第9回J感染症診療ネットワークフォーラム, 8月, 仙台
 - 1) 嵯峨知生 (2017) 「ESBLを再考する」ESBL産生菌の世界的状況と日本の現状(ワークショップ)
 5. 2017東北BDエキスパートセミナー, 10月, 秋田
 - 1) 嵯峨知生 (2017) (招請講演)ゲノム塩基配列から読み解く病原微生物の系統の変遷
 6. 平成29年度 第2回東北耐性菌倶楽部, 12月, 仙台
 - 1) 嵯峨知生 (2017) アドバイザリーコメント・まとめ
- 報 告 書
- 1) 植木重治 (2017) 第22回秋田県アレルギー週間市民公開講座. アレルギーア 45, 7-9.
- そ の 他
1. 平成28年度難病及び小児慢性特定疾病指定医師研修(県南地区), 1月, 横手
 - 1) 面川 歩 (2017) 全身性エリテマトーデス
 2. 平成28年度第2回厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業特発性造血障害に関する調査研究班々会議総会, 2月, 東京
 - 1) 廣川 誠, 藤島直仁, 澤田賢一, 張替秀郎, 松田 晃, 小松則夫, 通山 薫, 米村雄士, 中尾眞二, 荒井俊也, 黒川峰夫 (2017) 赤芽球瘍診療の参照ガイド改訂第5版(案)
 - 2) 廣川 誠, 藤島直仁, 澤田賢一, 張替秀郎, 松田 晃, 小松則夫, 通山 薫, 米村雄士, 中尾眞二, 荒井俊也, 黒川峰夫 (2017) 後天性慢性赤芽球瘍の長期予後に関する前向き観察研究 (PRCA2016) の進捗状況
 3. 群馬大学・秋田大学連携 第5回生体情報研究シンポジウム, 2月, 秋田
 - 1) 植木重治 (2017) DNA traps による好酸球性ムチンの形成
 4. 平成28年度能代山本地域感染対策ネットワーク研修会, 2月, 能代
 - 1) 植木重治 (2017) 秋田の耐性菌動向と感染対策ネットワークへの期待
 5. 平成28年度秋田医学会賞受賞記念講演会, 2月, 秋田
 - 1) 植木重治 (2017) アレルギー・好酸球性炎症疾患の病態解明
 6. 秋田大学医学部附属病院 プライマリケア集中セミナー, 6月, 秋田
 - 1) 嵯峨知生 (2017) 渡航に関わる健康問題への対処
 7. 平成29年度第1回厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業特発性造血障害に関する調査研究班々会議総会, 7月, 東京
 - 1) 廣川 誠 (2017) 赤芽球瘍領域における調査研究の進捗状況と今後の方針
 - 2) 廣川 誠, 藤島直仁, 澤田賢一, 張替秀郎, 松田 晃, 小松則夫, 通山 薫, 米村雄士, 中尾眞二, 荒井俊也, 黒川峰夫 (2017) 後天性慢性赤芽球瘍領域の長期予後に関する前向き観察研究 (PRCA2016) の進捗状況
 - 3) 廣川 誠, 藤島直仁, 石田文宏, 中尾眞二, 松田 晃, 通山 薫, 太田晶子 (2017) 次世代シーケンシングによる再発・難治性後天性慢性赤芽球瘍の診断と治療に関する研究班 (AMED-PRCA-NGS2017) との連携について
 8. 秋田リンパ腫カンファ分科会 骨髄像 16, 9月, 秋田
 - 1) 廣川 誠 (2017) 骨髄不全症候群の診断と治療の進歩
 9. (株)秋田魁新報社員勉強会, 11月, 秋田

(24)

病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座

- 1) 廣川 誠 (2017) 健康寿命日本一を目指すために秋田県が取り組むべき課題
10. 秋田県総合診療・家庭医研修センター 20th ER&GP Conference, 12月, 秋田
- 1) 渡部 健 (2017) 本場もんの GP practice を見て, 感じたこと ～イギリス研修報告～
11. 平成 29 年度 先進医療及び医療サービスに関するプロジェクトコンペー部門 ② 医療サービス等においての取り組みや成果の期待できる事柄一, 12月, 秋田
- 1) 嵯峨知生, 面川 歩, 嵯峨亜希子, 長谷川諒, 渡部 健, 小林則子, 植木重治, 長谷川仁志, 廣川 誠 (2017) 海外渡航者に対する渡航者外来開設に向けた取り組み

Akita J Med 45 (Suppl) : 25~27, 2018

病態制御医学系

麻 醉 ・ 蘇 生 ・ 疼 痛 管 理 学 講 座

(旧麻醉学)

教 授	西 川 俊 昭
准教授(兼任)	堀 口 剛 (病院教授, 中央手術部)
准 教 授	木 村 哲
非常勤講師	太 田 助 十 郎 (秋田県立脳血管研究センター麻酔科診療部部長)
	平 野 勝 介 (平野いたみのクリニック院長) (~3月)
	山 内 正 憲 (東北大学病院麻酔科教授) (4月~)
講 師	合 谷 木 徹
助 教	長 崎 剛 (~8月)
	安 部 恭 子・真 崎 容 子
	佐 藤 浩 司
	中 島 麻 衣 子 (産休7月~)
	安 達 真 梨 子 (~9月)
	堀 越 雄 太 (集中治療部)
	山 本 夏 子 (8月~)
	吉 本 正 志 (12月~)
医 員	吉 本 正 志 (~11月)
	小 玉 早 穂 子
	山 本 夏 子 (~7月)
	清 水 佳 甫 (7月~)
	厨 川 千 香・佐 藤 結 香
	太 田 由 里 恵 (産休7月~)
	仙 波 由 布 子
	小 林 紗 雪 (~3月)
	和 田 詠 子 (~3月)
	松 田 光 世 (~3月)
	今 野 俊 宏 (4月~)
	根 本 晃 (4月~)
	水 野 香 菜 (4月~)
技術補佐員	宮 原 麻 美
事務補佐員	加 賀 谷 絵 里 子・九 島 裕 子

(26)

病態制御医学系 麻酔・蘇生・疼痛管理学講座

著 書

- 1) 西川俊昭(2017) 第6章 麻酔と脳神経機能, 麻酔科学レビュー2017. 総合医学社, pp.36-40.
- 2) 堀口 剛(2017) 医療機器安全実践必携ガイド「臨床医学編」日本医療器機学会監修. 第IV章 治療学: 5. 内視鏡を用いた治療. 6. 手術療法. 7. 教育入院. 8. 精神療法. 9. リハビリテーション. 10. クリニカルパス. エム・イー振興協会, pp.87-105.
- 3) 合谷木徹(2017) 第3章神経系の合併症, オペナージング2017年春増刊 術中術後合併症50. メディカ出版, pp.112-148.

総説・解説

- 1) 合谷木徹(2017) 手術室における医療安全手術室火災・地震発生時の麻酔科医の初期対応—備えあれば患いなし—. 日本臨床麻酔学会誌 **37**, 81-87.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Horikoshi, Y., Goyagi, T., Kudo, R., Kodama, S., Horiguchi, T. and Nishikawa, T. (2017) The suppressive effects of landiolol administration on the occurrence of postoperative atrial fibrillation and tachycardia, and plasma IL 6 elevation in patients undergoing esophageal surgery: A randomized controlled clinical trial. *J. Clin. Anesth.*, **38**, 111-116.
- 2) Yamamoto, N., Horiguchi, T., Kimura, T. and Nishikawa, T. (2017) Heart rate response to intravenous landiolol during propofol anesthesia. *Circ. Cont.*, **38**, 35-39.
- 3) Yoshimoto, M., Horiguchi, T., Kimura, T. and Nishikawa, T. (2017) Recovery from ropivacaine-induced or levobupivacaine-induced cardiac arrest in rats: comparison of lipid emulsion effects. *Anesth. Analg.*, **125**, 1496-1502.
- 4) 加藤正太郎, 合谷木徹, 岩澤さあや, 堀口 剛, 西川俊昭, 三浦昌朋(2017) 薬剤師による麻酔薬調製と麻薬管理が及ぼす手術患者入れ替

え時間への影響. 日本臨床麻酔学会誌 **37**, 295-300.

- 5) 山本夏子, 小松 博, 西川俊昭(2017) 橈骨動脈穿刺時に発症した発作性心房細動により術中循環管理に難渋した1症例. 蘇生 **36**, 72-75.

B. 審査が明確でない雑誌に掲載された学術論文

- 1) 清水真由子, 堀口 剛(2017) 術後訪問における術後脱臼予防指導パンフレットの有用性. 手術医学 **38**, 136-137. (proceedings)

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 28th International Symposium on Cerebral Blood Flow, Metabolism and Function & 13th International Conference on Quantification of Brain Function with PET, April, Berlin, Deutschland
- 1) Goyagi, T. (2017) The effects of preconditioning on the long-term cognitive function after sevoflurane exposure in neonatal rats

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第92回日本医療機器学会, 7月, 横浜
 - 1) 熊谷崇嗣, 堀口 剛, 佐藤大輔, 富澤 学, 吉田陽平, 小山内康貴, 濱浦昂佑, 新堀佑樹, 三浦亜矢子, 伊藤由乃, 北村のり子, 小林浩悦, 佐藤 滋(2017) 電動式低圧持続吸引器の不具合に対する分解・修理の利点と効果
2. 日本ペインクリニック学会第51回大会, 7月, 岐阜
 - 1) 木村 哲, 西川俊昭(2017) 複雑な既往を有する患者の下肢痛に生理食塩水によるエコーガイド下筋膜リリースが奏効した一例
3. 日本臨床麻酔学会第37回大会, 11月, 東京
 - 1) 清水佳甫, 大高公成, 柴田繁啓, 和田詠子, 稲本 晃, 西川俊昭(2017) 腹腔鏡下手術の気腹により生じた皮下気腫による高二酸化炭素血症に高頻度ジェット換気の重量が奏功した3例
4. 第39回日本手術医学会, 10月, 東京
 - 1) 渡部ますみ, 安部恭子, 堀口 剛(2017) 当院における予定手術中止や変更の要因分析
 - 2) 白杵尚志, 堀田哲夫, 古土井春吾, 石山忠彦, 堀口 剛(2017) 全国調査から見たHIV陽性

手術例の現状

- 3) 堀田哲夫, 古土井春吾, 石山忠彦, 臼杵尚志, 堀口 剛 (2017) 平成 27, 28 年度国立大学病院手術台稼働状況調査
5. 日本蘇生学会第 36 回大会, 11 月, 東京
 - 1) 吉本正志, 堀口 剛, 西川俊昭 (2017) ロビバカインとレボプロピバカインによる心停止に対する脂肪乳剤の蘇生効果発現時間及び蘇生率の相違
- (b) 地方会
 1. 第 41 回東北ペインクリニック学会, 3 月, 福島
 - 1) 木村 哲, 西川俊昭 (2017) 治療に難渋した開心術後前胸部痛に筋膜リリースが著効した一例
 2. 日本麻酔科学会, 北海道・東北支部学術集会, 9 月, 秋田
 - 1) 西川俊昭 (2017) 温故知新の心で麻酔科学を究める (会長講演)
 - 2) 水野香菜, 合谷木徹, 西川俊昭 (2017) 新生ラットのセボフルラン暴露による長期的認知機能低下に対する低酸素プレコンディショニングの効果
 - 3) 真崎容子, 堀口 剛, 西川俊昭 (2017) セボフルラン麻酔後の脳, 肝臓, 腎臓における血管透過性の変化
 - 4) 根本 晃, 大高公成, 和田詠子, 清水佳甫, 柴田繁啓, 西川俊昭 (2017) 腹腔鏡下手術の気腹により皮下気腫を合併した患者における高二酸化炭素血症に対して高頻度ジェット換気の重量が奏功した 1 例
 - 5) 松田光世, 木村 哲, 西川俊昭 (2017) i-gel™ 挿入下ピーチチェア体位での上腕骨手術中に気道閉塞をきたした一症例
 - 6) 和田詠子, 菅沼紘平, 柴田繁啓, 大高公成, 西川俊昭 (2017) 敗血症性ショックを呈した急性汎発性腹膜炎手術前後の尿中 NGAL 測定が CHDF 導入の判断に有用であった 1 症例
 - 7) 小林紗雪, 長崎 剛, 西川俊昭 (2017) 妊娠

29 週で全身麻酔下舌癌手術を施行した 1 例

- 8) 五十嵐千香, 中島麻衣子, 山本夏子, 西川俊昭 (2017) 気管チューブ抜去後, ST 上昇を生じた 1 例
- 9) 佐藤結香, 佐藤浩司, 西川俊昭 (2017) 上行大動脈壁在血栓摘出術において閉胸時に心室細動を繰り返した 1 症例
- 10) 今野俊宏, 中島麻衣子, 佐藤浩司, 合谷木徹, 西川俊昭 (2017) 術中大量出血を起こした異なる地域での 2 症例

(c) 研究会

(ii) 地方規模

1. 第 8 回秋田県麻酔懇話会, 4 月, 秋田
 - 1) 松田光世, 木村 哲, 西川俊昭 (2017) i-gel™ 挿入下ピーチチェア体位での肩関節手術中に気道閉塞をきたした一症例
 - 2) 厨川千香, 中島麻衣子, 山本夏子, 西川俊昭 (2017) 気管チューブ抜去後, ST 上昇を生じた 1 例
 - 3) 堀越雄太, 長崎 剛, 西川俊昭 (2017) 腹臥位での頸椎手術中, 事故抜管が発生した 1 症例
2. 第 28 回秋田県臨床輸血研究会, 12 月, 秋田
 - 1) 今野俊宏, 安部恭子, 合谷木徹, 堀口 剛, 西川俊昭 (2017) 術中大量出血が稀な病院における危機的出血への対応

そ の 他

1. 秋田住友ベーク株式会社メディカル研究所基礎医学勉強会, 9 月, 秋田
 - 1) 木村 哲 (2017) 検査と手術の麻酔
2. 秋田大学医学部産婦人科学講座第 57 回遠隔テレビ会議, 7 月, 秋田
 - 1) 木村 哲 (2017) 帝王切開の麻酔と無痛分娩
 - 2) 合谷木徹 (2017) 印象記 日本蘇生学会第 35 回大会, 臨床麻酔 41, 101-102.

Akita J Med 45 (Suppl) : 29~31, 2018

病態制御医学系

放射線医学講座, 放射線科

(旧放射線医学)

教授	橋本学
准教授	高橋聡
非常勤講師	宮内孝治・木下俊文 平安名常一・泉純一 加藤弘毅・山崎郁郎
講師	安倍明・石山公一
助教	渡辺磨・大谷隆浩
医員	古賀誠 菅原真人・松田雅純 浅野友之・戸沢智樹 和田優貴(5月~) 大高葵 熊谷聡(4月~) 笹嶋素子(4月~)
研修登録医 事務系補佐員	高木倫子 堀真奈美・五十嵐幸子

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Wada, Y., Ishiyama, K., Tozawa, T., Otaka, A., Takagi, N., Asano, T., Sugawara, M., Nanjo, H., Saito, H., Minamiya, Y. and Hashimoto, M. (2017) Evaluation of the CT angiogram sign and its relationship with the pathological finding of resected primary solid lung cancer in light of modern advances in the technology of CT scanners. *Akita J. Med.*, **44**, 139-146.
- 2) Oshima, T., Ohtani, M., Otani, T., Takahashi, S., Hashimoto, M. and Mimasaka, S. (2017) 法医学の実際と研究 **60**, 173-176.

学会発表

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第46回日本神経放射線学会, 2月, 東京
 - 1) 高橋 聡, 大谷隆浩, 古賀 誠, 戸沢智樹, 和田優貴, 松田雅純, 橋本 学, 国分康平, 柳澤俊晴, 清水宏明(2017) 海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻の経静脈性塞栓術における蝶形頭頂静脈洞造影の有用性
 - 2) 大谷隆浩, 高橋 聡, 松田雅純, 戸沢智樹, 橋本 学, 清水宏明, 柳澤俊晴(2017) 動作下での頸部血管造影が診断に有用であった脳血管障害の2例
 - 3) 松田雅純, 大谷隆浩, 高橋 聡, 三瓶 結, 菅原正伯, 渡邊 修, 橋本 学(2017) 抗

(30)

病態制御医学系 放射線医学講座, 放射線科

- VGKC 複合体抗体陽性辺縁系脳炎の 2 例
2. 第 76 回日本医学放射線学会総会, 4 月, 横浜
 - 1) 石山公一, 大谷隆浩, 古賀 誠, 松田雅純, 浅野友之, 戸沢智樹, 和田優貴, 橋本 学, 寺田かおり, 伊藤亜樹 (2017) Dual energy CT による乳癌の拡がり診断
 3. 第 46 回日本 IVR 学会総会, 5 月, 岡山
 - 1) 高橋 聡 (2017) 下垂体疾患・副甲状腺疾患の静脈サンプリング (教育講演)
 - 2) 石山公一, 古賀 誠, 浅野友之, 菅原真人, 戸沢智樹, 和田優貴, 橋本 学, 劉 嘉嘉, 佐藤雄亮, 本山 悟 (2017) 術後リンパ漏に対するリンパ節リンパ管造影の検討
 - 3) 古賀 誠, 高橋 聡, 石山公一, 菅原真人, 戸沢智樹, 和田優貴, 大高 葵, 大谷隆浩, 橋本 学 (2017) 脾動脈瘤に対するコイル塞栓術の検討
 - 4) 和田優貴, 戸沢智樹, 大高 葵, 浅野友之, 松田雅純, 菅原真人, 古賀 誠, 大谷隆浩, 石山公一, 高橋 聡, 橋本 学 (2017) 当院での肝細胞癌破裂に対する TAE の治療成績と予後因子の検討
 - 5) 戸沢智樹, 高橋 聡, 和田優貴, 宮内孝治, 小松田智也, 齋藤さとみ, 山中有美子, 橋本学 (2017) NBCA による Plug and push technique を用い塞栓し得た脾動脈分枝仮性動脈瘤の一例
 4. 第 31 回日本腹部放射線学会, 6 月, 旭川
 - 1) 石山公一, 高木倫子, 戸沢智樹, 大高 葵, 笹嶋素子, 橋本 学, 吉岡政人, 渡辺 剛, 山本雄造, 南條 博 (2017) 下大静脈から発生した平滑筋肉腫の 1 例
 - 2) 戸沢智樹, 石山公一 (2017) 前立腺癌に合併した精嚢乳頭状嚢胞腺腫の 1 例
 5. 第 57 回日本核医学会学術総会, 10 月, 横浜
 - 1) 松田雅純, 浅野友之, 菅原真人, 古賀 誠, 石山公一, 渡辺 磨, 高橋 聡, 成田伸太郎, 羽瀨友則, 橋本 学 (2017) ^{111}In -pentetrotide にて集積を認めた前立腺癌の 1 例
 6. 日本放射線腫瘍学会第 30 回学術大会, 11 月, 大阪
 - 1) 和田優貴, 安倍 明, 熊谷 聡, 笹嶋素子, 戸沢智樹, 高木倫子, 橋本 学 (2017) 当院での食道癌内視鏡的粘膜下層剥離術後の追加根治化学放射線治療の初期成績
 7. 第 33 回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会, 11 月, 東京
 - 1) 高橋 聡, 大谷隆浩, 松田雅純, 橋本 学, 国分康平, 清水宏明, 伏見 進 (2017) Suboccipital cavernous sinus dural AVF の 2 例
- (b) 地方会
1. 第 136 回日本医学放射線学会北日本地方会, 6 月, 山形
 - 1) 石山公一, 大谷隆浩, 古賀 誠, 松田雅純, 大高 葵, 橋本 学 (2017) Dual energy CT による乳がんの拡がり診断 (第 2 報)
 - 2) 松田雅純, 高橋 聡, 大谷隆浩, 戸沢智樹, 和田優貴, 菅原真人, 石山公一, 橋本 学 (2017) Embosphere を用いた術前塞栓術を施行した頭頸部腫瘍における組織学的検討
 - 3) 和田優貴, 安倍 明, 橋本 学, 廣瀬勝己, 原田崇臣, 高井良尋, 鈴木志恒, 中村達也, 和田 仁, 菊池泰裕, 村上昌雄 (2017) BNCT において組織低酸素環境がヒト膠芽腫細胞の ^{10}B -p-boronophenylalanine 摂取能に与える影響
 2. 第 137 回日本医学放射線学会北日本地方会, 10 月, 仙台
 - 1) 高橋 聡, 松田雅純, 笹嶋素子, 大谷隆浩, 橋本 学, 国分康平, 清水宏明, 佐藤輝紀, 飯野健二, 渡邊博之 (2017) 椎骨動脈静脈瘻の塞栓術の検討
 - 2) 石山公一, 大谷隆浩, 古賀 誠, 松田雅純, 橋本 学 (2017) 乳腺 MRI 解析ソフトによる Kinetic curve の ROI 設定に関する検討
 - 3) 熊谷 聡, 和田優貴, 笹嶋素子, 高木倫子, 安倍 明, 橋本 学, 亀岡吉弘, 南條 博 (2017) 乳房原発悪性リンパ腫に逐次的化学放射線療法を施行して長期完全寛解を得ている一例
- (c) 研究会
- (i) 全国規模
1. 第 26 回日本乳癌画像研究会, 2 月, 横浜
 - 1) 石山公一 (2017) 乳癌術後フォローアップの画像診断: マンモグラフィと MRI について (教育講演)
 2. 第 37 回神経放射線ワークショップ, 6 月, 岐阜
 - 1) 松田雅純, 笹嶋素子, 大谷隆浩, 高橋 聡, 橋本 学, 高橋和孝, 清水宏明 (2017) immature teratoma の 1 例

(ii) 地方規模

1. 第33回秋田県脳神経研究会, 2月, 秋田
 - 1) 大谷隆浩, 高橋 聡, 橋本 学 (2017) MRI造影剤に関する最近の知見～ガドリニウムの脳内沈着を中心に～ (教育講演)
2. 第1回 Tohoku NET Conference, 2月, 郡山
 - 1) 松田雅純, 浅野友之, 菅原真人, 古賀 誠, 石山公一, 渡辺 磨, 高橋 聡, 橋本 学, 成田伸太郎, 羽瀧友則 (2017) オクトレオスキャンの集積を認めた前立腺癌の1例
3. 第23回秋田IVR研究会, 3月, 秋田
 - 1) 石山公一, 浅野友之, 菅原真人, 古賀 誠, 高橋 聡, 橋本 学 (2017) ミリプラ TACE があまり奏功しなかった2例
4. 第76回秋田画像診断研究会, 3月, 秋田
 - 1) 石山公一 (2017) 左眼窩 MALT リンパ腫患者に見られた肺 MALR リンパ腫
 - 2) 石山公一 (2017) 自己免疫性睥炎と腹部大動脈周囲病変が見られた IgG4 関連疾患
5. 第73回秋田脳神経画像研究会, 5月, 秋田
 - 1) 松田雅純, 笹嶋素子, 大谷隆浩, 高橋 聡, 橋本 学, 高橋和孝, 清水宏明 (2017) 新生児の immature teratoma の1例
6. 第3回秋田乳がん看護セミナー, 6月, 秋田
 - 1) 和田優貴 (2017) 放射線は地味だが役に立つ (特別講演)
7. 秋田県甲状腺腫瘍治療検討会, 6月, 秋田
 - 1) 和田優貴 (2017) 切除不能甲状腺原発扁平上皮癌に対してレンバチニブに放射線外照射を同時併用して良好な局所制御を得た一例
8. 第30回北日本IVR研究会, 9月, 札幌
 - 1) 石山公一, 浅野友之, 熊谷 聡, 古賀 誠, 戸沢智樹, 高橋 聡, 橋本 学, 佐藤直樹, 清水 大, 佐藤敏治, 加藤 彩, 牧野健一, 寺田幸宏 (2017) 子宮頸癌術後に生じた骨盤内リンパ漏に対してリンパ節リンパ管造影にて治癒した1例
 - 2) 戸沢智樹, 橋本 学 (2017) 臍頭十二指腸切除後に生じた門脈狭窄と門脈瘤に対しステント留置した1例
9. 第22回北奥羽放射線治療懇話会, 9月, 八幡平
 - 1) 和田優貴, 安倍 明, 熊谷 聡, 笹嶋素子, 高木倫子, 橋本 学 (2017) 食道癌 ESD 後の追加化学放射線治療の初期成績
10. 第16回がん診療連携研修会, 9月, 秋田
 - 1) 和田優貴 (2017) 放射線治療の現状とこれから (教育講演)

Akita J Med 45 (Suppl) : 33~37, 2018

病態制御医学系

眼 科 学 講 座

(旧：眼科学)

教 授	吉 富 健 志
准 教 授	石 川 誠
講 師	齋 藤 昌 晃・澤 田 有
非 常 勤 講 師	佐 藤 德 子 (なべしま眼科クリニック 副院長)
助 教	渡 部 広 史 (3月31日退職・平鹿総合病院 眼科長)
	神 大 介・渡 辺 駿
	太 田 悠 介 (12月1日・医員より)
医 員	早 川 真 弘・西 山 俊 吾
	鎌 田 竜 馬 (4月1日・研修医より)
社会人大学院生 (博士課程)	齊 藤 裕 輔 (医員兼務)
	伊 藤 翔 平 (医員兼務)
	柴 田 直 弥 (医員兼務)
	柴 田 瞳 (医員兼務)
	藤 原 康 太 (九州大学医学部へ研修)
研 究 生	高 橋 和 臣
視 能 訓 練 士	安 田 節 子・松 井 孝 子
	佐 藤 幸 子・田 中 敦 子
	加 藤 舞
	中 嶋 里 美 (3月31日退職)
技術系補佐員	高 関 早 苗
事務系補佐員	渡 辺 真 喜 子・石 井 愛

総 説・解 説

- 1) 齋藤昌晃 (2017) 蛍光眼底造影クニカルカンファレンス (第13回) 網膜血管腫状増殖. 臨床眼科 **71**(1), 76-82.
- 2) 小笠原雅, 齋藤昌晃 (2017) 蛍光眼底造影クニカルカンファレンス (第19回) 脈絡膜新生血管. 臨床眼科 **71**(9), 1318-1327.
- 3) 澤田 有 (2017) 緑内障セミナー 緑内障の視神経乳頭形態パターン. あたらしい眼科 **34**

(8), 1143-1144.

- 4) 澤田 有 (2017) 緑内障セミナー 近視眼緑内障. あたらしい眼科 **34**(10), 1419-1420.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Ishikawa, M., Yoshitomi, T., Covey, D.F., Zorumski, C.F. and Izumi, Y. (2017) Neurosteroids and oxysterols as potential therapeutic

- agents for glaucoma and Alzheimer's disease. *Neuropsychiatry*, **7**, 640-652.
- 2) Saito, M., Kano, M., Itagaki, K. and Sekiryu, T. (2017) Efficacy of intravitreal aflibercept in Japanese patients with exudative age-related macular degeneration. *Jpn. J. Ophthalmol.*, **61**, 74-83.
 - 3) Sawada, Y., Hangai, M., Ishikawa, M. and Yoshitomi, T. (2017) Association of Myopic Deformation of Optic Disc with Visual Field Progression in Paired Eyes with Open-Angle Glaucoma. *PLoS One*, 2017 Jan 23, **12** (1), e0170733.
 - 4) Sawada, Y., Araie, M., Ishikawa, M. and Yoshitomi, T. (2017) Multiple Temporal Lamina Cribrosa Defects in Myopic Eyes with Glaucoma and Their Association with Visual Field Defects. *Ophthalmology*, **124**(11), 1600-1611.
 - 5) Ohta, Y., Takaseki, S. and Yoshitomi, T. (2017) Effects of ripasudil hydrochloride hydrate (K-115), a Rho-kinase inhibitor, on ocular blood flow and ciliary artery smooth muscle contraction in rabbits. *Japanese Journal of Ophthalmology*, **61** (5), 423-432.
 - 6) Fujiwara, K., Ikeda, Y., Murakami, Y., Funatsu, J., Nakatake, S., Tachibana, T., Yoshida, N., Nakao, S., Hisatomi, T., Yoshida, S., Yoshitomi, T., Ishibashi, T. and Sonoda, K.H. (2017) Risk Factors for Posterior Subcapsular Cataract in Retinitis Pigmentosa. *Invest. Ophthalmol. Vis. Sci.*, **58** (5), 2534-2537.
 - 7) Dong, Y., Yoshitomi, T., Hu, J.F. and Cui, J. (2017) Long noncoding RNAs coordinate functions between mitochondria and the nucleus. *Epigenetics Chromatin*, **10** (1), 41.
 - 8) 後関利明, 松井孝子 (2017) 小児視力検査. *臨床眼科* (増刊号) **71** (11), 48-57.
 - 9) 西山俊吾, 齋藤昌晃, 阿部早苗, 吉富健志 (2017) 黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬硝子体内注射の治療成績. *眼科臨床紀要*, 印刷中.
- thalmology Congress), March, Singapore
- 1) Saito, M., Abe, S., Nishiyama, S. and Yoshitomi, T. (2017) The relation of RPE atrophy and long-term visual outcomes in Japanese patients with RAP (e poster)
 - 2) Abe, S., Saito, M., Nishiyama, S. and Yoshitomi, T. (2017) One-Year Result and Predictive Factors of Visual Outcome in Switching to Intravitreal Aflibercept Injection for Age-Related Macular Degeneration (e poster)
2. ARVO 2017 Annual Meeting, May, Baltimore, USA
 - 1) Ishikawa, M., Yoshitomi, T., Zorumski, C.F. and Izumi, Y. (2017) Synergistic protection from high pressure-induced injury by allopregnanolone and 24(S)-hydroxycholesterol in the ex vivo rat retina (poster)
 3. The 7th WGC (World Glaucoma Congress), June 28-July 1, Helsinki, Finland
 - 1) Ishikawa, M., Yoshitomi, T., Zorumski, C.F. and Izumi, Y. (2017) Intraocular pressure elevation induces neurosteroid synthesis by NMDA receptors in a rat ex vivo retinal preparation (poster)
 - 2) Kasuga, H., Sawada, Y., Matsui, T. and Yoshitomi, T. (2017) Difference between 30-2 and 24-2 visual field program in patients with glaucoma (poster)

B. 国内学会

(a) 総会・年会

1. 第 121 回日本眼科学会総会, 4 月, 東京
 - 1) 石川 誠, 吉富健志, 和泉幸俊 (2017) ex vivo ラット緑内障モデルにおける神経ステロイドの発現と神経保護作用 (一般口演)
 - 2) 齋藤昌晃, 西山俊吾, 阿部早苗, 吉富健志 (2017) 網膜血管腫状増殖の傍眼の状態と発症兆候の検討 (一般口演)
 - 3) 澤田 有, 伊藤翔平, 齋藤裕輔, 早川真弘, 石川 誠, 吉富健志 (2017) 開放隅角緑内障眼における視野障害の進行と近視性視神経乳頭変形の関係 (一般口演)
 - 4) 神 大介, 石川 誠, 吉富健志, 和泉幸俊 (2017) ex vivo 緑内障モデルにおける NMDA 受容体を介した神経ステロイドの誘導 (学術展示)
 - 5) 太田悠介, 石川 誠, 柴田直弥, 吉富健志,

学 会 発 表

A. 国際学会

1. The 32nd APAO (Asia-Pacific Academy of Oph-

- 和泉幸俊 (2017) *ex vivo* 緑内障モデルにおける神経ステロイド鏡像異性体の神経保護効果 (学術展示)
- 6) 西山俊吾, 阿部早苗, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) 長期経過を追えた脈絡膜母斑に合併した PCV の 1 例 (学術展示)
 - 7) 阿部早苗, 西山俊吾, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) Afibercept 抵抗 PCV に対する ranibizumab 併用 PDT の 6 カ月成績 (学術展示)
2. 第 6 回日本視野学会学術集会, 4 月, 秋田
 - 1) 春日 瞳, 澤田 有, 松井孝子, 吉富健志 (2017) 緑内障患者の HFA30-2, 24-2 プログラムの測定結果の検討—第 2 報— (一般口演)
 - 2) 松井孝子 (2017) 動的視野計 (JPS コーディングセミナー “いまさら聞けない, 様々な視野計の使い方”)
 3. 第 18 回日本ロービジョン学会学術総会, 5 月, 岐阜
 - 1) 吉富健志 (2017) 日本眼科学会における災害対策の現状 (シンポジウム “視覚障害と災害対策”)
 4. 第 73 回日本弱視斜視学会総会/第 42 回日本小児眼科学会総会 (合同学会), 6 月, 金沢
 - 1) 春日 瞳, 松井孝子, 澤田 有, 吉富健志 (2017) 水晶体形成異常を伴った結節性硬化症の 1 例 (学術展示)
 5. 第 34 回日本眼循環学会, 7 月, 大阪
 - 1) 齋藤昌晃, 西山俊吾, 阿部早苗, 吉富健志 (2017) 典型加齢黄斑変性の afibercept への治療変更後の 24 か月成績 (一般口演)
 - 2) 西山俊吾, 阿部早苗, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) 黄斑浮腫を伴う網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬硝子体内投与の治療成績 (一般口演)
 - 3) 阿部早苗, 西山俊吾, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) 治療歴のあるポリープ状脈絡膜血管症に対するアフリベルセプト硝子体内注射の 2 年成績 (一般口演)
 6. 第 37 回日本眼薬理学会, 9 月, 高山
 - 1) 吉富健志 (2017) 瞳孔, 眼科学と薬理学の狭間で (特別講演)
 7. 第 28 回日本緑内障学会, 9 月 29 日-10 月 1 日, 広島
 - 1) 吉富健志 (2017) 緑内障と薬理学 (須田記念講演)
 - 2) 石川 誠 (2017) 緑内障の神経保護治療 (シンポジウム 13 “薬物治療”)
 - 3) Sawada, Y. (2017) Lamina cribrosa deformation in different appearance of optic discs in glaucoma (シンポジウム 3 “Asia-Japan Imaging in glaucoma”)
 - 4) 伊藤翔平, 澤田 有, 石川 誠, 吉富健志, 徐 魁煒 (2017) 上方視神経部分低形成の OCT angiography (学術展示)
 - 5) 春日 瞳, 澤田 有, 松井孝子, 吉富健志 (2017) 緑内障患者の HFA30-2, 24-2 プログラムの測定結果の検討—第 3 報— (学術展示)
 8. 第 71 回日本臨床眼科学会, 10 月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 難症例に対する治療戦略～準備と工夫, そして対策～ (ランチョンセミナー)
 - 2) 澤田 有 (2017) 近視性視神経乳頭構造変化が緑内障性視野障害に与える影響 (シンポジウム 20 “OCT プラス β”)
 - 3) 松井孝子, 春日 瞳, 柴田直弥, 早川真弘, 吉富健志 (2017) 動眼神経麻を呈した小児の眼筋麻痺性片頭痛 (Ophthalmoplegic migraine ; OM) の 1 例 (学術展示)
 9. 第 58 回日本視能矯正学会, 10 月, 仙台
 - 1) 松井孝子, 小原千明, 小柳真知子, 吉富健志 (2017) 低発達年齢児に対する SpotTM Vision Screener の使用経験 (学術展示)
 10. 第 55 回日本神経眼科学会総会, 11 月, 横浜
 - 1) 柴田直弥, 石川 誠, 松井孝子, 吉富健志 (2017) 乳頭浮腫を呈したサルコイドーシスの 1 例 (学術展示)
 - 2) 松井孝子 (2017) いつもの検査, 視点がかわれば神経眼科 視野検査 (視能訓練士プログラム “神経眼科疾患を見逃さないコツと検査の進め方”)
 11. 第 56 回日本網膜硝子体学会総会, 12 月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃, 西山俊吾, 阿部早苗, 吉富健志 (2017) 網膜血管腫状増殖に対する ranibizumab 個別化治療の 1 年成績 (一般口演)
 - 2) 西山俊吾, 阿部早苗, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) ポリープ状脈絡膜血管症に合併した黄斑円孔に対する硝子体手術の成績 (一般口演)
 - 3) 阿部早苗, 西山俊吾, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) ポリープ状脈絡膜血管症に対する

(36)

病態制御医学系 眼科学講座

- afibercept 個別化治療の1年成績 (一般口演)
- (b) 地方会
12. 第103回秋田県眼科集談会, 12月, 秋田
- 1) 澤田 有, 春日 瞳, 石川 誠, 吉富健志 (2017) 近視眼緑内障における視神経乳頭耳側縁の篩状版欠損
 - 2) 太田悠介, 高関早苗, 吉富健志 (2017) ウサギの眼血流および毛様動脈に対するRhoキナーゼ阻害薬リパスジルの効果
 - 3) 伊藤翔平, 澤田 有, 石川 誠, 吉富健志, 徐 魁煒 (2017) SSOHのOCT angiography
 - 4) 鎌田竜馬, 西山俊吾, 齋藤昌晃, 吉富健志 (2017) 裂孔原性網膜剥離に対する気体網膜復位術
 - 5) 松井孝子, 小原千明, 小柳真知子, 吉富健志 (2017) 低発達年齢児の眼科健診 Spot™ Vision Screener による屈折検査
- (c) 研究会
- (ii) 地方研究会
1. 仙台眼科学術講演会 仙台網膜道場～寒稽古～, 1月, 仙台
 - 1) 西山俊吾 (2017) Afibercept に抵抗性を示したPCV症例の検討
 2. 第141回広島県眼科医会講習会, 2月, 広島
 - 1) 吉富健志 (2017) 緑内障治療の考え方
 3. Novartis Retina web symposium, 2月, 秋田
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の長期治療 2017～個別化治療の重要性～
 4. Tohoku PDT Forum, 2月, 盛岡
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 症例から診るPDTの有効性
 5. 第8回広島眼科 Winter Seminar, 3月, 広島
 - 1) 石川 誠 (2017) 緑内障の神経保護治療の可能性について
 6. 第4回 Akita retina Conference, 3月, 秋田
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 黄斑疾患の診断と治療～より良い病診連携のために～
 7. AMD Expert Meeting, 3月, 大阪
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の長期治療戦略 2017～個別化治療の考え方～
 8. STEP, 4月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 網膜疾患の診断と治療【AMD/mCNV】, 網膜疾患の治療【AMD/mCNV】
 9. 仙台眼科学術講演会～第7回仙台網膜道場～, 4月, 仙台
 - 1) 西山俊吾 (2017) 抗 VEGF 療法に抵抗性を示した糖尿病網膜症の1例 (症例揭示)
 10. Washington University School of Medicine Neuroscience Labo Meeting, 5月, ワシントン
 - 1) 石川 誠 (2017) Neurosteroids are possible therapeutic modulators for autophagic dysregulation in glaucoma
 11. グラナテック Webカンファレンス, 5月, 秋田
 - 1) 石川 誠 (2017) ROCK 阻害薬による緑内障診療の新展開
 12. 第3回 AAI Retina Club, 5月, 盛岡
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性に対する VEGF 薬の選択の考え方
 - 2) 阿部早苗 (2017) Afibercept 抵抗 PCV に対する ranibizumab 併用 PDT (症例揭示)
 13. 秋田緑内障連携の会, 6月, 秋田
 - 1) 石川 誠 (2017) 緑内障の新しい cutting edge～緑内障の未来に向けて
 14. 旭川エキスパートミーティング～AMDの治療戦略～, 6月, 旭川
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 4加齢黄斑変性の個別化治療 2017～個別化治療の考え方～
 15. 第4回 AMD Expert Clinical Conference, 6月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の個別化治療 2017～より良い長期成績を目指して～
 - 2) 阿部早苗 (2017) 視力不良となったPCVの傍眼に発症したPCVの治療について
 16. 東日本 AMD 学術講演会 これからの個別化治療, 6月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 典型 AMD に対する治療アプローチ
 17. 第10回秋田眼科講座, 7月, 秋田
 - 1) 吉富健志 (2017) 瞳孔と緑内障の薬理学
 18. 第6回福岡緑内障研究会, 7月, 福岡
 - 1) 吉富健志 (2017) 緑内障治療の考え方
 19. 男鹿潟上南秋医師会生涯教育, 7月, 秋田
 - 1) 石川 誠 (2017) 失明の危機～緑内障って何でしょう?～
 20. Innovation Japan 2017—大学見本市 & ビジネスマッチング—, 8月, 東京
 - 1) 石川 誠 (2017) 緑内障の病態を再現する加圧実験装置及び治療薬スクリーニング法
 21. 第19回眼科手術勉強会 in 盛岡, 8月, 盛岡

- 1) 齋藤昌晃 (2017) 私の硝子体手術—現状と課題—
22. Advanced STEP, 8月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 網膜疾患の治療【AMD/mCNV】
23. 参天製薬社内勉強会, 9月, 秋田
 - 1) 石川 誠 (2017) 色や形, 視野と眼疾患
24. 第1回北海道黄斑診療懇話会, 9月, 札幌
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の診断と治療 2017～病態に応じた個別化治療を目指して～
25. STEP, 9月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 網膜疾患の診断と治療【RVO/DME】, 硝子体注射の実践
26. 2017年度秋田県糖尿病療養指導士認定研修会, 9月, 秋田
 - 1) 神 大介 (2017) 糖尿病慢性合併症2
27. 目の愛護デー講座, 10月, 秋田
 - 1) 石川 誠 (2017) 失明の危機～緑内障ってどんな病気?
28. 第2回九州 PDT Expert Conference, 10月, 福岡
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の長期治療戦略 2017～病態に応じた個別化治療～
29. 正和会グループ第14回学術交流会, 11月, 秋田
 - 1) 吉富健志 (2017) 緑内障最近の話題
30. AMD Strategy Expert Meeting in SAPPORO, 11月, 札幌
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の個別化治療 2017～これからの治療はどうあるべきか～
 - 2) 阿部早苗 (2017) PDTは使わない!?
31. 埼玉網膜疾患連携会, 11月, 埼玉
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の長期治療戦略 2017～病態に応じた個別化治療～
32. Retina Update Seminar, 11月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の個別化治療 2017～これからの治療はどうあるべきか～
33. AMD Special Lecture Meeting in Osaka, 11月, 大阪
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の個別化治療 2017～これからの治療はどうあるべきか～
34. 第28回みちのく緑内障懇話会, 11月, 福島
 - 1) 伊藤翔平 (2017) 原発開放隅角緑内障におけるタフルプロスト点眼液及びラタノプロスト点眼液の視野障害進行に関する研究～中間解析～
35. AMD STEP UP Seminar, 12月, 東京
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の個別化治療 2017～これからの治療はどうあるべきか～
36. 第176回宮崎県眼科医会講習会, 12月, 宮崎
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) 加齢黄斑変性の診断と治療 2017～病態に応じた個別化治療を目指して～
37. PCV management Winter Forum —治療選択の再考—, 12月, 大阪
 - 1) 齋藤昌晃 (2017) PCVに対する抗 VEGF 薬併用 PDT の再考

Akita J Med 45 (Suppl) : 39~42, 2018

病態制御医学系

精神科学講座, 精神科

(旧精神科学)

教授	清水 徹 男	新山 善 嗣 (保健学科)
准教授	神林 崇	
非常勤講師	稲村 茂・田代 哲 男	
	水 俣 健 一・小畑 信 彦	
	佐藤 伸 一・菅原 純 哉	
	中村 和 彦・三島 和 夫	
	北島 正 人・室岡 守	
	伏見 雅 人	
講師	増田 豊 (心療センター)	
	佐川 洋 平・菊池 結 花	
	筒井 幸 (2月~)	
助教	高橋 裕 哉・竹島 正 浩	
医員	細谷 倫 子・平野 梨 聖	
	竹越 結 生 (~3月)	
	佐藤 優 真	
	佐々木 諒 (~5月)	
	藤原 大 (~3月)	
	馬越 秋 瀬 (2月~)	
技術専門員(兼)	山田 康 子	
臨床心理士	渡邊 真 由 美	
大学院生	大森 佑 貴 (4月~)	
	今西 彩・小野 太 輔	
	吉沢 和 久 (6月~)	

著 書

1) 清水徹男 (2017) 睡眠障害治療薬. 福井次矢 (監修) Pocket Drugs 2017. 医学書院, 東京.

総説・解説

1) 清水徹男 (2017) うつ病と睡眠. 日本臨牀

75(10), 1601-1605.

2) 清水徹男 (2017) うつ病検診に不眠スクリーニングは有用か? 睡眠医療 11(3), 341-345.

3) 清水徹男 (2017) 【精神医学症候群 (第2版) 一不安症から秩序破壊的・衝動制御・素行症まで】睡眠-覚醒障害群 不眠障害. 日本臨床別冊精神医学症候群 II, 356-361.

4) 和田大和, 神林 崇, 黒田健治 (2017) 【内

(40)

病態制御医学系 精神科学講座, 精神科

- 科医と睡眠障害—睡眠障害の診断と治療をプライマリ・ケアに】睡眠障害の分類と鑑別診断. 内科 **120**(5), 1021-1027.
- 5) 和田大和, 澤田将幸, 黒田健治, 神林 崇 (2017) 【睡眠障害: 超高齢社会における実態とその対策】高齢不眠症患者への薬物療法. *Pharma Medica* **35**(3), 39-43.
 - 6) 佐川洋平, 神林 崇 (2017) 【オレキシン受容体拮抗薬の臨床的意義と今後への期待】オレキシンと過眠症. *睡眠医療* **11**(1), 27-34.
 - 7) 竹島正浩, 清水徹男 (2017) 【精神医学と睡眠学の接点】気分障害の治療としての時間生物学的治療. *精神医学* **59**(6), 553-558.
 - 8) 大森佑貴, 今西 彩, 竹越結生ら (2017) 【精神医学症候群 (第2版)—不安症から秩序破壊的・衝動制御・素行症まで—】睡眠-覚醒障害群 ナルコレプシー. 日本臨床 別冊精神医学症候群 II, 367-373.
 - 9) 小野太輔, 神林 崇 (2017) 【睡眠障害診療29のエッセンス】過眠障害 過眠症診療の実際. 医学のあゆみ 別冊睡眠障害診療29のエッセンス, 121-126.

原 著 論 文

A. 審査を経た論文

- 1) Suda, H., Kanbayashi, T., Ito, S.U., Sagawa, Y., Imanishi, A., Tsutsui, K., Takahashi, J., Kikuchi, Y., Takahashi, Y. and Shimizu, T. (2017) Residual effects of eszopiclone on daytime alertness, psychomotor, physical performance and subjective evaluations. *Sleep and Biological Rhythms*, **15**(4), 311-316.
- 2) Ito, W., Kanbayashi, T., Shimizu, K., Uemura, S.I., Wakana, M., Inoue, Y., Shimizu, T. and Nishino, S. (2017) Acute effects of zaleplon on daytime functions on the following day: psychomotor and physical performances, arousal levels and mood. *Gazzetta Medica Italiana Archivio per le Scienze Mediche*, **176**(5), 257-264.
- 3) Tsutsui, K., Kanbayashi, T., Takaki, M., Omori, T., Imai, Y., Nishino, S., Tanaka, K. and Shimizu, T. (2017) N-Methyl-D-aspartate receptor antibody could be a cause of catatonic symptoms in psychiatric patients: case reports and methods

for detection. *Neuropsychiatric Disease and Treatment*, **13**, 339-345.

- 4) Masuda, Y. (2017) Two adaptogenic humoral lipoids prepared in mouse given various stresses. *Akita Journal of Medicine*, **44**(2), 69-72.
- 5) Masuda, Y. (2017) Behavioral adaptogenic glycolipid in mouse given various stresses. *Akita Journal of Medicine*, **44**(2), 63-67.
- 6) Takeshima, M., Ishikawa, H. and Shimizu T. (2017) Acute Respiratory Distress Syndrome and Lamotrigine. *Psychosomatics*, **58**(3), 313-316.
- 7) Takahashi, J., Kanbayashi, T., Ito, S.U., Sagawa, Y., Tsutsui, K., Takahashi, Y., Omori, Y., Imanishi, A., Takeshima, M., Satake, M. and Shimizu, T. (2017) Residual effects of eszopiclone and placebo in healthy elderly subjects: a randomized double-blind study. *Sleep and Biological Rhythms*, **15**(3), 235-241.
- 8) 神林 崇, 大森佑貴 (2017) 「精神医学」への手紙 うつ病へのアリピプラゾールの増強療法の効果が「中折れ」したときの対応. *精神医学* **59**(10), 979-981.
- 9) 羽二生稔大, 佐藤真也, 増田 豊, 上村佐知子, 長谷川裕晃 (2017) マイクロバブル炭酸浴のストレスコーピング物質産生効果. *秋田医学* **44**(1), 45-49.
- 10) 大森佑貴, 神林 崇, 高木 学ら (2017) 抑うつ症状を伴う睡眠相後退症候群に対するaripiprazoleの有効性の単群試験による検討. *精神科治療学* **32**(6), 831-834.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. The 31st Annual Meeting of the Associated Professional Sleep Societies, June 2017, Boston, USA
 - 1) Sato, S., Kanbayashi, T., Imanishi, A., Tsutsui, K. and Shimizu, T. (2017) A noninvasive ECG recording in intact mice during sleep and wake-sleep transition
 - 2) Ito, S.U., Kanbayashi, T., Ito, A., Kimoto, Y., Ono, T., Satake, M., Shioya, T., Shimizu, T. and Nishino, S. (2017) Residual effects of Suvorexant, Zolpidem and Ramelteon in healthy elderly sub-

jects : a randomized double-blind study

- 3) Imanishi, A., Kawazoe, T., Hamada, Y., Omori, Y., Sagawa, Y., Ono, T., Takahashi, Y., Takahashi, J., Tsutsui, K., Kanbayashi, T. and Shimizu, T. (2017) Symptomatic narcolepsy among inherited disorder, such as Niemann-Pick Type C
 - 4) Omori, Y., Kanbayashi, T., Sagawa, Y., Imanishi, A., Tsutsui, K., Takahashi, J., Takeshima, M., Takaki, M., Nishino, S. and Shimizu, T. (2017) Low dose of Aripiprazole reduced nocturnal sleep time in the patients with delayed sleep phase disorder and depressive symptoms
2. The 1st Asian Narcolepsy and Hypersomnolence Society Meeting, Mar 2017, Seoul, South Korea
- 1) Kanbayashi, T., *et al.* (2017) Neuro-immune disease in symptomatic narcolepsy
- B. 国内会議**
- (a) 総会・年会**
1. 第36回日本社会精神医学会, 3月, 東京
 - 1) 石川博康, 竹島正浩, 神林 崇 (2017) 副作用情報収集データベース (JADER) に登録された交通事故レポートの分析
 2. 第120回日本小児科学会学術集会, 4月, 東京
 - 1) 白井育子, 八谷靖夫, 西田裕也, 眞下秀明, 宮田世羽, 熊田聡子, 神林 崇, 栗原栄二 (2017) 小児期発症ナルコレプシー8例の検討
 3. 第59回日本小児神経学会学術集会, 6月, 大阪
 - 1) 神林 崇, 久保田弘樹, 矢野珠巨, 有井潤子, 高橋 勉, 酒井規夫 (2017) ナルコレプシーのカタプレキシ- (情動脱力発作) を知ってニーマンピック病C型を早期に見いだす
 - 2) 神林 崇, 久保田弘樹, 矢野珠巨, 有井潤子, 高橋 勉 (2017) 睡眠相後退症候群 (遅寝遅起き) に対して少量のアリピプラゾールにより早起きを促す
 - 3) 野口 隼, 寺嶋 宙, 占部良介, 片山菜穂子, 神岡哲治, 柿本 優, 武井 剛, 久保田雅也, 金子仁彦, 高橋利幸, 神林 崇 (2017) 経過中に過眠を呈し, 髄液オレキシン低値を認めたADEMの1例
 - 4) 柳下友映, 伊藤 進, 水落 清, 杉本 圭, 大谷ゆい, 衛藤 薫, 竹下暁子, 平澤恭子, 神林 崇, 小國弘量, 永田 智 (2017) 長時間ビデオ脳波検査で特徴的な脱力発作を記録したナルコレプシーの2症例
 - 5) 八谷靖夫, 西田裕哉, 熊田聡子, 神林 崇, 佐久間啓 (2017) ナルコレプシー患者における免疫学的検討
4. 第32回日本老年精神医学会, 6月, 名古屋
- 1) 大森佑貴, 今西 彩, 成田恵理子, 藤原 大, 下村辰雄, 神林 崇, 清水徹男 (2017) REM睡眠行動障害を合併した若年発症の前頭側頭型認知症の1例
5. 第42回日本睡眠学会定期学術集会, 6月, 横浜
- 1) 神林 崇, 今西 彩, 小野宏晃, 大森佑貴, 小野太輔, 佐川洋平, 高橋裕哉, 吉沢和久, 筒井 幸, 清水徹男 (2017) 睡眠医療の現状と展望を考える 過眠症の診断と治療における最近の変遷 発達障害併存例の急増とDSM-5の新診断基準
 - 2) 上村佐知子, 神林 崇, 小野太輔, 齊藤 明, 木元 稔, 照井佳乃, 佐竹将宏, 塩谷隆信, 清水徹男, 西野精治 (2017) オレキシン受容体拮抗薬, メラトニン受容体作動薬, 非ベンゾジアゼピン系睡眠薬の一回服用が健常高齢者の運動・認知機能に及ぼす影響
 - 3) 小野宏晃, 今西 彩, 馬越秋瀬, 吉沢和久, 佐川洋平, 成田恵理子, 岩城 忍, 相澤里香, 神林崇, 清水徹男 (2017) オレキシン中間体の症候性過眠症の特徴
 - 4) 米衛ちひろ, 齋藤貴志, 石垣英俊, 老谷嘉樹, 都留あゆみ, 亀井雄一, 今西 彩, 神林 崇, 佐々木征行 (2017) ステロイド療法が有効であったナルコレプシーの4歳女児例
 - 5) 高橋 淳, 神林 崇, 上村佐知子, 佐川洋平, 筒井 幸, 高橋裕哉, 大森佑貴, 今西 彩, 竹島正浩, 佐竹将宏, 清水徹男 (2017) 健常高齢者に対する eszopiclone の効果
 - 6) 竹島正浩, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 短時間睡眠者の睡眠構築の検討
 - 7) 今西 彩, 川添僚也, 濱田悠介, 小野太輔, 大森佑貴, 佐川洋平, 筒井 幸, 神林 崇, 酒井規夫, 清水徹男 (2017) 二次性のナルコレプシーを来す遺伝性の疾患 ニーマンピック病C型におけるオレキシン濃度の検討
 - 8) 今西 彩, 小野太輔, 大森佑貴, 佐川洋平, 筒井 幸, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 過眠症状を訴えて検査入院した症例の比較検討 (中枢性過眠症と発達障害の合併)

(42)

病態制御医学系 精神科学講座, 精神科

- 9) 小野太輔, 今西 彩, 大森佑貴, 佐川洋平, 筒井 幸, 成田恵理子, 吉沢和久, 馬越秋瀬, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 脳脊髄液中オレキシン A (ヒボクレチン-1) 測定における RIA 及び ELISA の比較
- 10) 佐藤紳一, 神林 崇, 今西 彩, 佐川洋平, 筒井 幸, 清水徹男 (2017) マウス睡眠覚醒移行期の居眠り (船漕ぎ) 活動記録
6. 第 113 回日本精神神経学会学術集会, 6 月, 名古屋
- 1) 神林 崇, 来住由樹 (2017) 自己抗体と精神症状 (シンポジウム司会)
- 2) 田中恵子, 大野 萌, 齋藤摩美, 筒井 幸, 神林 崇, 崎村建司 (2017) 精神症状を主徴とする自己免疫性脳炎—自己抗体に関する最近の話題
- 3) 筒井 幸, 神林 崇, 松本康宏, 佐々木諒, 田中恵子, 清水徹男 (2017) 古典的自己抗体と精神症状
- 4) 菊池結花, 佐藤優真, 佐藤 亘, 鈴木りほ, 安宅慶一郎, 八木澤究, 大森佑貴, 佐々木諒, 佐々木倫子, 平野梨聖, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 統合失調症治療におけるクロザピン導入が電気けいれん療法の施行状況に及ぼす影響に関する経過報告
- 5) 佐藤優真, 菊池結花, 佐々木諒, 竹越結生, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 自閉症スペクトラムを伴う治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンを投与した一例
- 6) 竹越結生, 今西 彩, 筒井 幸, 大森佑貴, 神林 崇, 高橋裕哉, 小野太輔, 田中恵子, 清水徹男 (2017) 過眠性障害における髄液の抗 NMDA 受容体 (R) 抗体が陽性の症例の検討
- 7) 佐々木諒, 筒井 幸, 神林 崇, 清水徹男 (2017) ラメルテオンが著効した重篤な身体疾患を伴う重症せん妄 3 例の検討
- 8) 吉沢和久, 大森佑貴, 筒井 幸, 高橋裕哉, 佐川洋平, 高橋 淳, 小野太輔, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 睡眠相後退症候群 (遅寝遅起き) に対して微量のアリピプラゾールにより早起きを促す
7. 第 37 回日本精神科診断学会, 10 月, 大阪
- 1) 大森佑貴, 筒井 幸, 成田恵理子, 今西 彩, 下村辰雄, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 若年発症の前頭側頭型認知症に REM 睡眠行動障害を合併した 1 例
8. 第 25 回日本精神科救急学会学術総会, 11 月, 金沢
- 1) 金子幸太, 筒井 幸, 佐々木諒, 田代佳織, 竹越結生, 石川博康, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 救急対応を要した特定妊婦の 1 例
9. 第 27 回日本臨床精神神経薬理学会, 11 月, 島根
- 1) 竹島正浩, 菊池結花, 清水徹男 (2017) クロザピン誘発性アカシジアにガバベンチンエナカルビルが著効した 1 例
- 2) 大森佑貴, 菊池結花, 佐藤優真, 佐々木諒, 竹越結生, 吉沢和久, 神林 崇, 清水徹男 (2017) 統合失調症を併発した自閉症スペクトラム障害患者にクロザピン治療を行った 1 例
- 3) 佐藤優真, 菊池結花, 佐々木諒, 神林 崇, 清水徹男 (2017) レベチラセタムとクロザピンを併用中に抗好中球細胞質抗体陽性となった治療抵抗性統合失調症の 1 例
- 4) 吉沢和久, 菊池結花, 佐藤優真, 神林 崇, 清水徹男 (2017) レベチラセタムによる薬剤熱が疑われた 2 症例
- (b) 研究会
- (i) 全国規模
1. 不眠研究会第 33 回研究発表会, 12 月, 東京
- 1) 大森佑貴, 神林 崇, 今西 彩, 吉沢和久, 佐藤優真, 馬越秋瀬, 山田康子, 武田忠厚, 清水徹男 (2017) REM sleep without atonia を伴った夜間前頭葉てんかんの 1 例.

Akita J Med 45 (Suppl) : 43~45, 2018

病態制御医学系

微生物学講座

(旧微生物学)

教授	佐々木雄彦
准教授	佐々木純子
非常勤講師	木村洋貴 (秋田大学生体情報研究センター)
	嵯峨知生 (秋田大学附属病院中央検査部助教)
	錫谷達夫 (福島県立医科大学教授)
	高橋義博 (大館市立病院副診療局長)
	中根明夫 (弘前大学医学部教授)
	西村秀一 (仙台医療センターウイルスセンター長)
	松田幸久 (秋田大学バイオサイエンス教育・研究センター)
	村田茂穂 (東京大学大学院 薬学系研究科教授)
助教	高須賀俊輔・江口賢史
技術職員(兼)	伊藤玲悦
教育系補佐員	刈屋佑美

原著論文

A. 審査を経た論文

- Huang, M., Narita, S., Inoue, T., Koizumi, A., Saito, M., Tsuruta, H., Numakura, K., Satoh, S., Nanjo, H., Sasaki, T. and Habuchi, T. (2017) Fatty acid binding protein 4 enhances prostate cancer progression by upregulating matrix metalloproteinases and stromal cell cytokine production. *Oncotarget*, **8**(67), 111780-111794.
- Malek, M., Kielkowska, A., Chessa, T., Anderson, K.E., Barneda, D., Pir, P., Nakanishi, H., Eguchi, S., Koizumi, A., Sasaki, J., Juvin, V., Kiselev, V.Y., Niewczasz, I., Gray, A., Valayer, A., Spensberger, D., Imbert, M., Felisbino, S., Habuchi, T., Beinke, S., Cosulich, S., Le Novère, N., Sasaki, T., Clark, J., Hawkins, P.T. and Stephens, L.R. (2017) PTEN Regulates PI (3,4) P2 Signaling Downstream of Class I PI3K. *Mol. Cell*, **68**(3), 566-580.
- Kimura, H., Matsuyama, Y., Araki, S., Koizumi, A., Kariya, Y., Takasuga, S., Eguchi, S., Nakanishi, H., Sasaki, J. and Sasaki, T. (2017) The effect and possible clinical efficacy of in vivo inhibition of neutrophil extracellular traps by blockade of PI3K-gamma on the pathogenesis of microscopic polyangiitis. *Mod. Rheumatol.*, Sep, **7**, 1-12.
- Shindou, H., Koso, H., Sasaki, J., Nakanishi, H., Sagara, H., Nakagawa, K.M., Takahashi, Y., Hishikawa, D., Iizuka-Hishikawa, Y., Tokumasu, F., Noguchi, H., Watanabe, S., Sasaki, T. and Shimizu, T. (2017) Docosahexaenoic acid preserves visual function by maintaining correct disc morphology in retinal photoreceptor cells. *J. Biol. Chem.*, **292**, 12054-12064.
- Iizuka-Hishikawa, Y., Hishikawa, D., Sasaki, J., Takubo, K., Goto, M., Nagata, K., Nakanishi, H., Shindou, H., Okamura, T., Ito, C., Toshimori, K., Sasaki, T. and Shimizu, T. (2017) Lysophos-

(44)

病態制御医学系 微生物学講座

- phatidic acid acyltransferase 3 tunes the membrane status of germ cells by incorporating docosahexaenoic acid during spermatogenesis. *J. Biol. Chem.*, **292**, 12065-12076.
- 6) Matsumoto, J., Nakanishi, H., Kunii, Y., Sugiura, Y., Yuki, D., Wada, A., Hino, M., Niwa, S.I., Kondo, T., Waki, M., Hayasaka, T., Masaki, N., Akatsu, H., Hashizume, Y., Yamamoto, S., Sato, S., Sasaki, T., Setou, M. and Yabe, H. (2017) Decreased 16:0/20:4-phosphatidylinositol level in the post-mortem prefrontal cortex of elderly patients with schizophrenia. *Sci. Rep.*, **7**, 45050.
- 7) Kimura, H., Eguchi, S., Sasaki, J., Kuba, K., Nakanishi, H., Takasuga, S., Yamazaki, M., Goto, A., Watanabe, H., Itoh, H., Imai, Y., Suzuki, A., Mizushima, N. and Sasaki, T. (2017) Vps34 regulates myofibril proteostasis to prevent hypertrophic cardiomyopathy. *JCI Insight*, **2**(1), e89462.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. International Symposium on Imaging Frontier 2017, 7月, 東京
- 1) Sasaki, T., Nakanishi, H., Eguchi, S. and Sasaki, J. (2017) INPP4B is a tumor suppressor in the context of PTEN insufficiency by modulating the levels of PI3K lipid products
2. International Conference on Lipoquality, 9月, 東京
- 1) Takasuga, S. and Sasaki, T. (2017) Proportional dwarfism caused by altered hepatic lipoquality in mice

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第69回日本細胞生物学会大会, 6月, 仙台
- 1) 佐々木純子, 中西広樹, 刈屋佑美, 江口賢史, 佐々木雄彦 (2017) イノシトールリン脂質クオリティとシグナル伝達
- 2) 高須賀俊輔, 中西広樹, 木村洋貴, 佐々木純子, 佐々木雄彦 (2017) ホスファチジルグリセロールリン酸 (PGP) ホスファターゼの生理機能
2. 第5回がん代謝研究会 in 札幌, 7月, 札幌

- 1) 佐々木雄彦 (2017) がんのリン脂質代謝制御
3. 第44回日本マスキリーニング学会, 8月, 秋田
- 1) 佐々木雄彦 (2017) リン脂質のバイオロジー・疾患と質量分析
4. 第42回日本医用マスキトル学会年会, 9月, 東京
- 1) 佐々木雄彦 (2017) イノシトールリン脂質のリポクオリティ解析
5. 第36回日本認知症学会学術集会, 11月, 金沢
- 1) 佐々木雄彦 (2017) SHIP1とPIリン酸化・脱リン酸化を介する炎症制御
6. 2017年度生命科学系学会合同年次大会, 12月, 神戸
- 1) 佐々木雄彦 (2017) ホスホイノシタイドの質と病態

報 告 書

- 1) 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 研究成果報告書, 佐々木雄彦
- 2) 日本学術振興会 科学研究費補助金 新学術領域研究, 実績報告書, 佐々木雄彦
- 3) 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (A) 実績報告書, 佐々木雄彦
- 4) 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 挑戦的萌芽研究 実施報告書, 佐々木雄彦
- 5) 日本学術振興会 科学研究費補助金 基盤研究 (B) 実績報告書, 佐々木純子
- 6) 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 実施報告書, 高須賀俊輔
- 7) 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 実施報告書, 江口賢史
- 8) 日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 実施報告書, 木村洋貴

そ の 他

1. 第4回AMED-CREST・JST さきがけ合同領域会議, 1月, 三島
- 1) 佐々木雄彦 (2017)
2. 第4回JFAS講演, 3月, 東京
- 1) 佐々木雄彦 (2017) イノシトールリン脂質代謝異常と病態
3. 退職記念生理化学シンポジウム東京大学大学院

- 薬学系研究科, 3月, 東京
- 1) 佐々木雄彦 (2017)
4. 東京工業大学科学技術創成研究院セミナー, 3月, 横浜
 - 1) 佐々木雄彦 (2017) 細胞膜リン脂質の動態と機能
 5. リポクオリティ領域若手研究発表会, 5月, 神奈川
 - 1) 佐々木純子 (2017) 性転換とリン脂質代謝
 6. 第28回研究成果発表会 小野医学研究財団, 6月, 大阪
 - 1) 佐々木雄彦 (2017) 膜リン脂質異常に起因する心筋症の病態生理解明
 7. 新学術領域研究「脂質クオリティが解き明かす生命現象」第3回領域会議, 7月, 那須
 - 1) 佐々木雄彦 (2017) 膜リン脂質クオリティ分析技術の開発と生命現象への適用

Akita J Med 45 (Suppl) : 47~50, 2018

病態制御医学系

救急・集中治療医学講座

(旧救急医学)

教授	中永士師明
非常勤講師	加藤博之 (弘前大学医学部附属病院総合医学教育講座 教授)
	藤田康雄 (秋田赤十字病院 救命救急センター長)
	中畑潤一 (秋田赤十字病院 救急部長)
	師井淳太 (秋田県立脳血管研究センター 救急科診療部長)
	佐藤誠 (中通総合病院 救急診療部長)
	伊藤香葉 (八戸市立市民病院 救命救急センター医長)
講師	奥山学
	古屋智規 (H29.7~)
医員	菊谷祥博 (~H29.9)
	佐藤佳澄
事務系補佐員	鈴木敦子

著書

- 1) 中永士師明 (2017) 急性中毒 (薬物中毒). 日本アフェリシス学会・日本急性血液浄化学会 (編) 血液浄化専門医 指導マニュアル. 東京, pp. 253-257.
- 2) 奥山学 (2017) 救急医療におけるメディカルコントロール. へるす出版, pp. 128-131.
- 3) 真弓俊彦, 古屋智規 (2017) 急性腎炎. 下瀬川徹 (編) 新腎臓病学. 南江堂, 東京, pp. 308-316.

総説・解説

- 1) 中永士師明, 三浦亜矢子 (2017) High flow-volume plasma filtration with dialysis (PDF) と plasma exchange with dialysis (PED). 日アフェリシス会誌 **36**, 161-166.
- 2) 真弓俊彦, 新里 到, 眞田彩華, 石川成人, 弓指恵一, 山中芳亮, 大坪広樹, 古屋智規 (2017) 急性腎炎の治療と栄養管理のポイント.

ト. Nutrition Care **10**, 116-119.

- 3) 古屋智規 (2017) 急性腎炎と plasma filtration with dialysis (PDF). 日アフェリシス会誌 **36**, 171-174.

原著論文

A. 審査を経た論文

- 1) Nakae, H., Saito, Y., Okuyama, M. and Igarashi, T. (2017) A case of tetanus treated with Kampo medicines such as Kakkonto and Shakuyakukanzoto. *Acute Medicine & Surgery*, **4**, 217-220.
- 2) Nakae, H., Tomida, K., Kikuya, Y., Okuyama, M. and Igarashi, T. (2017) Comparison of quality of human serum albumin preparations in two pharmaceutical products. *Acute Medicine & Surgery*, **4**, 251-254.
- 3) Tomura, Y., Osada, S., Akama, T., Hasunuma, N., Nakae, H. and Manabe, M. (2017) Case of toxic shock syndrome triggered by negative pressure wound therapy. *J. Dermatology*, **44**, e315-

(48)

病態制御医学系 救急・集中治療医学講座

e316.

- 4) Miyamoto, K., Horibe, M., Sanui, M., Sasaki, M., Sugiyama, D., Kato, S., Yamashita, T., Goto, T., Iwasaki, E., Shirai, K., Oe, K., Sawano, H., Oda, T., Yasuda, H., Ogura, Y., Hirose, K., Kitamura, K., Chiba, N., Ozaki, T., Oshima, T., Yamamoto, T., Nagata, K., Mine, T., Saito, K., Sekino, M., Furuya, T., Matsuda, N., Hayakawa, M., Kanai, T. and Mayumi, T. (2017) Plasmapheresis therapy has no triglyceride-lowering effect in patients with hypertriglyceridemic pancreatitis. *Intensive Care Med.*, Online First-February, 1-3.
- 5) 中永士師明, 細井信幸, 富田浩輝, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 奥山 学, 五十嵐季子 (2017) 選択的膜型血漿分離器エバキューアープラス EC-4A10 を用いた Selective plasma exchange with dialysis (PED) における溶質除去特性の牛血系 in vitro 評価. 日アフエレシス会誌 **36**, 41-46.
- 6) 三浦亜矢子, 新堀佑樹, 奥山 学, 五十嵐季子, 中永士師明 (2017) 血液濾過膜から漏血をきたした1例. 日アフエレシス会誌 **36**, 135-138.
- 7) 奥山 学, 本山 悟, 五十嵐季子, 中永士師明 (2017) 指揮・安全確保・情報・評価に重点を置いたブラインド型消火避難訓練. *J.J. Disast. Med.*, **22**, 71-78.
- 8) 奥山 学, 本山 悟, 五十嵐季子, 中永士師明 (2017) 指揮・安全・情報・評価に重点を置いたブラインド型消火避難訓練. 日集団災医学会 **22**(1), 79-86.

学 会 発 表

A. 国際会議

1. 9th International Symposium on Hepatic Failure and Artificial Liver, 6月, Harbin, China
 - 1) Nakae, H. (2017) Artificial liver in the treatment of fulminant liver failure
2. The 9th Chinese Congress on Critical Care Blood Purification, 6月, Dalian, China
 - 1) Nakae, H. (2017) Artificial liver in the treatment of fulminant liver failure in Japan

B. 国内会議

(a) 総会・年会

1. 第22回日本集団災害医学会総会・学術集会, 2月, 名古屋
 - 1) 山平大介, 奥山 学, 中永士師明 (2017) 緊急消防援助隊訓練として行われた SCU 訓練
 - 2) 奥山 学, 中永士師明 (2017) 災害発生直後の病院の初動について
2. 第44回日本集中治療医学会学術集会, 3月, 札幌
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療と漢方診療 (企画セミナー)
 - 2) 奥山 学, 五十嵐季子, 菊谷祥博, 中永士師明 (2017) 集中治療部 (ICU) におけるプレセプシン測定の意義
3. 第53回日本腹部急医学会総会, 3月, 横浜
 - 1) 眞田彩華, 新里 到, 石川成人, 大坪広樹, 古屋智規, 真弓俊彦, 岡本好司, 横江正道, 矢野春美, 三浦文彦, 糸井隆夫, 桐山勢生, 吉田雅博, 高田忠敬 (2017) 急性胆管炎, 胆道炎ガイドラインの普及に関する実態調査 (シンポジウム)
4. 第48回日本腎臓学会, 7月, 京都
 - 1) 古屋智規, 真弓俊彦, 竹山宜典 (2017) 異なる地域間における急性腎炎治療の比較—地域連携チーム医療モデル構築に向けて
5. 第28回日本急性血液浄化学会学術集会, 9月, 埼玉
 - 1) 中永士師明, 三浦亜矢子, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 奥山 学, 古屋智規 (2017) 急性肝不全に対する cPED 療法—ブレイクスルーはどこにある? (ワークショップ)
6. 第23回日本 HDF 研究会学術集会・総会, 9月, 盛岡
 - 1) 古屋智規, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 奥山 学, 中永士師明 (2017) 重症急性腎炎における HDF の意義 (ワークショップ)
7. 第38回日本アフエレシス学会学術大会, 10月, 千葉
 - 1) 古屋智規, 三浦亜矢子, 中永士師明, 奥山 学, 菊谷祥博, 佐藤佳澄 (2017) 肝不全合併重症多臓器障害に対する Continuous Plasma Exchange with Dialysis (シンポジウム)
8. 第45回日本救急医学会総会・学術集会, 10月, 大阪

- 1) 佐藤佳澄, 中永士師明, 奥山 学, 菊谷祥博 (2017) 秋田県心肺停止搬送データベース解析 院外心停止に対する病院前アドレナリン投与
- 2) 堤 俊太, 奥山 学, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 中永士師明 (2017) 黄色ブドウ球菌食中毒により発症直後にショックとなった1例

(b) 地方会

1. 第27回東北アフェレシス研究会, 3月, 仙台
 - 1) 三浦亜矢子, 新堀佑樹, 奥山 学, 五十嵐季子, 中永士師明 (2017) 血液濾過膜から漏血をきたした1例
2. 第10回秋田県アフェレシス研究会, 4月, 秋田
 - 1) 新堀佑樹, 三浦亜矢子, 奥山 学, 五十嵐季子, 中永士師明 (2017) 非昏睡型急性肝不全に対して, continuous PEDを施行した一例
3. 第1回日本集中治療医学会東北支部学術集会, 7月, 弘前
 - 1) 三浦亜矢子, 新堀佑樹, 北村のり子, 佐藤佳澄, 奥山 学, 中永士師明 (2017) 急性肝不全に対して, continuous PEDを施行した2例
 - 2) 富田浩輝, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 奥山 学, 中永士師明 (2017) 2種類の人血性アルブミン製剤の品質比較, 第1回日本集中治療医学会東北支部学術集会

(c) 研究会

(i) 全国規模

1. 第5回急性血液浄化・集中治療フォーラム, 2月, 大阪
 - 1) 古屋智規 (2017) 重症急性膵炎におけるPDFの効果 (パネルディスカッション)
2. 第23回日本HDF研究会学術集会・総会, 9月, 盛岡
 - 1) 古屋智規, 佐藤佳澄, 菊谷祥博, 奥山 学, 中永士師明 (2017) 重症急性膵炎におけるHDFの意義 (ワークショップ)

(ii) 地方規模

1. 第32回東北静脈経腸栄養研究会 (日本静脈経腸栄養学会東北支部会), 12月, 弘前
 - 1) 若松麻衣子, 松森純子, 平野尚子, 中山真紀, 齊藤美保子, 柳田仁子, 渡邊麻未, 渡邊香里, 成田琢磨, 古屋智規, 山田祐一郎 (2017) 治療に難渋した肝切除術施行患者に長期栄養支援が有効と考えられた一例

講 演

1. 勤務医のための漢方セミナー, 6月, 仙台
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療における漢方の役割
2. 第234回秋田市外科の会, 6月, 秋田
 - 1) 中永士師明 (2017) 爆傷について
3. 第98回春日井臨床漢方の会, 7月, 春日井
 - 1) 中永士師明 (2017) 漢方を応用した急性期治療
4. 病院勤務医のための漢方セミナー 2017 in 浜松, 7月, 浜松
 - 1) 中永士師明 (2017) 「漢方を西洋医学の中へどのように取り入れるか」「急性期および疼痛治療における漢方医学の応用」
5. 明日から使える漢方実践セミナー, 8月, 松山
 - 1) 中永士師明 (2017) 「漢方を西洋医学の中へどのように取り入れるか」「急性期における漢方治療の活用法」
6. 郡山地区臨床研修指定病院合同漢方研究会, 9月, 郡山
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療における漢方の役割
7. 第1回在宅医療研修会, 9月, 秋田
 - 1) 中永士師明 (2017) 高齢者の救急医療
8. 小江戸漢方虎の巻 (時の鐘漢方講演会), 9月, 川越
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療に役立つ漢方薬
9. 第23回秋田県救急隊員セミナー, 10月, 北秋田市
 - 1) 中永士師明 (2017) 救命率向上に向けて～最近の救急医療～
10. 第14回久留米大学東洋医学研究会, 10月, 久留米
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療で役立つ漢方
11. 第43回日本東洋医学会北陸支部ランチョンセミナー, 10月, 金沢
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療における漢方の役割
12. 第15回秋田大学医理工連携「夢を語る会」, 11月, 秋田大学
 - 1) 中永士師明 (2017) 新しい急性血液浄化療法～血液血漿分離膜の開発～
13. 第53回秋田県救急医療研修会—県北地区 (能

(50)

病態制御医学系 救急・集中治療医学講座

- 代市山本郡医師会), 11月, 能代市
- 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療の立場からの漢方
 14. 第82回秋田県医学会総会, 11月, 秋田
 - 1) 中永士師明 (2017) 最近の救急事情
 15. 第14回三重東洋医学教育研究会, 11月, 津
 - 1) 中永士師明 (2017) 急性期医療における漢方の役割
 16. 東洋医学実践セミナー in つくば, 12月, つくば
 - 1) 中永士師明 (2017) 救急医療で漢方薬を効かせるコツ
 17. 20th ER&GP Conference, 12月, 秋田厚生医療センター
 - 1) 中永士師明 (2017) 敗血症性ショック～一歩先行く治療を目指して～
- 総会・学術集会印象記. 日アフエレス会誌 **36**, 58.
- 2) 中永士師明 (2017) 第44回日本集中治療医学会学術総会印象記. 日アフエレス会誌 **36**, 144-145.
 - 3) 中永士師明 (2017) The 9th Chinese Congress on Critical Care Blood Purification (第九届中国重症血液净化大会) 参加印象記. 日アフエレス会誌 **36**, 211.
 - 4) 中永士師明 (2017) 9th International Symposium on Hepatic Failure and Artificial Liver (第九届国际暨全国肝衰竭与人工肝学术会议) 参加印象記. 日アフエレス会誌 **36**, 212.
 - 5) 中永士師明 (2017) 漢方処方による鎮痛・鎮静. 救急医学 **41**, 1585-1590.

そ の 他

- 1) 中永士師明 (2017) 第44回日本救急医学会